

周南市の水道に関する意識調査  
報 告 書

平成27年11月

周南市上下水道局

# 目次

1. 調査目的	1
2. 調査概要	1
3. 分析方針	1
4. 報告書の見方	1
5. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 家族数	3
(4) 家族構成	4
(5) 住居	4
(6) 給水方式	5
(7) 住所	5
(8) 居住年数	6
(9) 水道使用量	6
(10) 水道料金のお支払状況	7
6. 調査結果	8
(1) 水道水について	8
問 1	8
問 2	11
問 3	14
問 4	17
問 5	20
(2) 節水について	23
問 6	23
問 7	26
(3) 水道事業について	29
問 8	29
問 9	31
問 10	34
(4) 広報について	35
問 11	35
問 12	37
(5) 災害時の水の備蓄について	39
問 13	39
問 14	43
(6) 水道料金制度について	47
問 15	47
問 16	51
(7) 給水装置について	53
問 17	53

問 17-1.....	54
問 17-2.....	56
問 17-3.....	58
問 17-4.....	60
問 17-5.....	62
(8) 水道施設の更新や耐震化について .....	64
問 18 .....	64
問 19 .....	66
(9) 水道局の今後の取組について .....	71
問 20 .....	71

## 1. 調査目的

この調査は、水道をご利用いただいているお客様のご意見・ご要望をうかがい、今後の事業運営及び施策の企画・立案等に役立てることを目的として実施しました。

## 2. 調査概要

- 調査項目 水道事業に関する 24 問
- 調査地域 鹿野・熊毛地区除く周南市内
- 調査対象 周南市に居住する 20 歳以上の方 3,000 人
- 抽出方法 住民記録からの無作為抽出
- 調査方法 郵便による送付・回収
- 調査期間 平成 27 年 10 月 1 日（木）～10 月 30 日（金）
- 有効回答数 1,569

## 3. 分析方針

集計結果では、次の項目について結果を記載しました。

- 単純集計 単純集計結果
- 属性別集計 設問の性質に応じた属性ごとの集計結果
- その他の集計 回答内容によって設問を分岐する等、直前の設問と合わせて結果を見る必要がある場合には、回答内容による結果の集計を行いました。
- 経年比較 平成 21 年度の調査において類似の設問・選択肢がある場合には、経年による比較を行いました。

## 4. 報告書の見方

- 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入しています。従って、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- 2 つ以上の回答を可能とした質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合があります。
- 報告書中の図表では、回答選択枝の表現を短縮している場合があります。
- この調査は標本調査であるため、周南市民の意見を推測する場合、誤差を伴います。次の式から誤差を求めることができます。

算出式

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

$N$  = 母集団（調査地域の人口）

$n$  = 回答者数

$p$  = 回答の比率（ $0 \leq p \leq 1$ ）

早見表

回答比率 (p) 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,569	±1.48	±1.98	±2.27	±2.42	±2.47
1,500	±1.52	±2.02	±2.32	±2.48	±2.53
1,200	±1.70	±2.26	±2.59	±2.77	±2.83
1000	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
200	±4.16	±5.54	±6.35	±6.79	±6.93
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※  $(N-n) / (N-1) \cong 1$  として算出

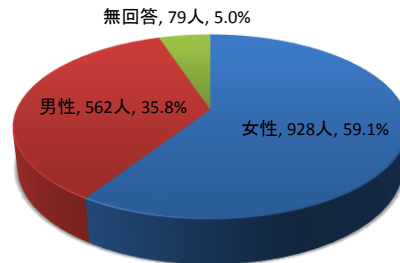
例えば、「水道水の安全性についてどのように感じていますか」という質問に対して、「どちらかといえば安心」と答えた人が50%といたとします。

回答者が1,569人、回答率が50%前後のとき標本誤差は、標本誤差早見表では±2.47%であるから、「どちらかといえば安心」と考える人は、市内水道利用者の47.53%から52.47%の間であると推定できます。

## 5. 回答者の属性

### (1) 性別

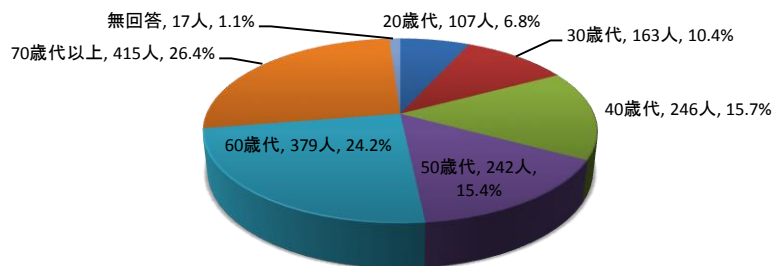
回答者の性別は「女性」が59.1%で「男性」35.8%を上回っています。



N=1,569

### (2) 年齢

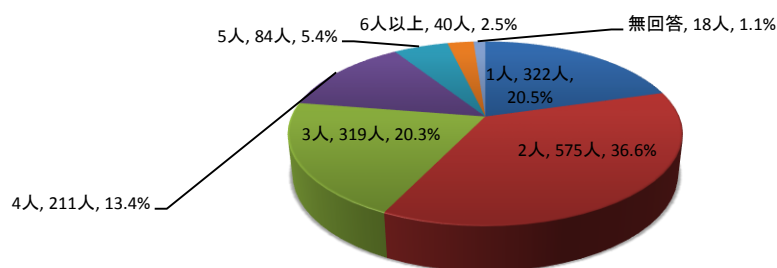
回答者の年齢は「70歳代以上」が26.4%で最も多く、次いで「60歳代」(24.2%)、「40歳代」(15.7%)、「50歳代」(15.4%)、「30歳代」(10.4%)、「20歳代」(6.8%)の順になっています。



N=1,569

### (3) 家族数

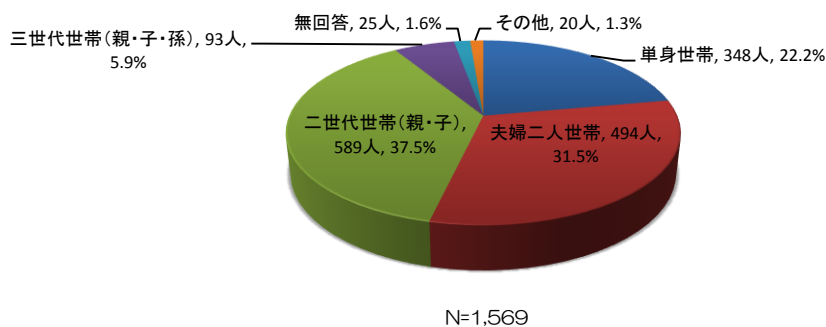
家族数については「2人」が36.6%と最も多く、次いで「1人」(20.5%)、「3人」(20.3%)、「4人」(13.4%)、「5人」(5.4%)、「6人以上」(2.5%)の順になっています。



N=1,569

#### (4) 家族構成

家族構成については「二世代世帯（親・子）」が37.5%で最も多くなっています。次いで「夫婦二世帯」（31.5%）、「単身世帯」（22.2%）、「三世代世帯（親・子・孫）」（5.9%）の順になっています。

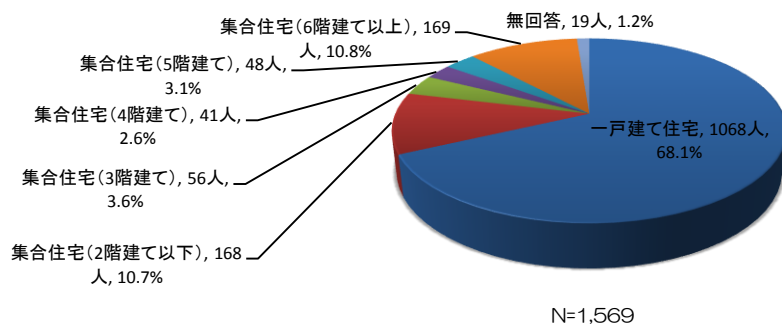


「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 兄弟・姉妹
- 祖母・孫
- 二世帯（夫婦・姉）
- 単身二人

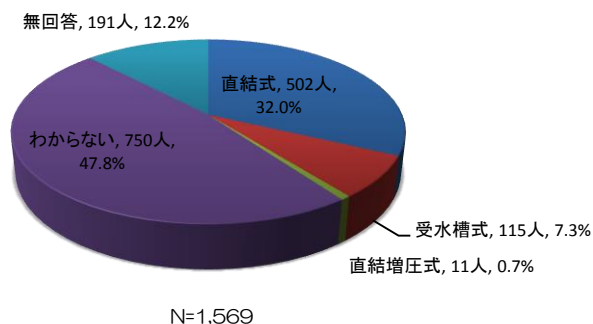
#### (5) 住居

住居については「一戸建て住宅」が68.1%で最も多くなっています。次いで「集合住宅（6階建て以上）」（10.8%）、「集合住宅（2階建て以下）」（10.7%）、「集合住宅（3階建て）」（3.6%）、「集合住宅（5階建て）」（3.1%）、「集合住宅（4階建て）」（2.6%）の順になっています。



## (6) 給水方式

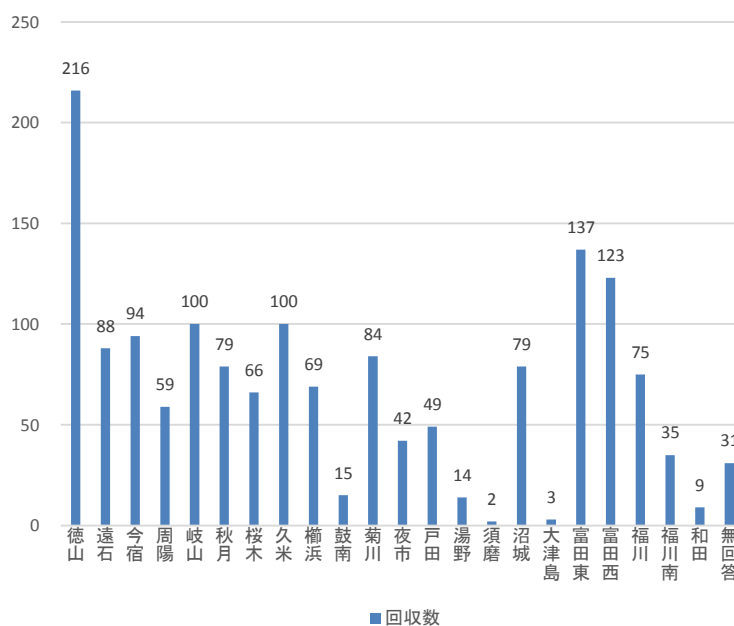
給水方式については「わからない」が47.8%で最も多くなっています。次いで「直結式」(32.0%)、「受水槽式」(7.3%)、「直結増圧式」(0.7%)の順になっています。



## (7) 住所

回答者の居住地区は以下のとおりです。「徳山」地区の回収率が75.8%で最も多くなっています。

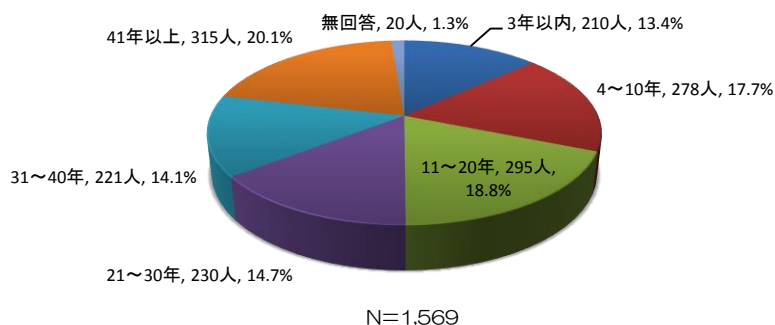
調査対象校区	調査戸数	回収数	回収率
徳山	285	216	75.8%
遠石	205	88	42.9%
今宿	224	94	42.0%
周陽	124	59	47.6%
岐山	247	100	40.5%
秋月	159	79	49.7%
桜木	143	66	46.2%
久米	215	100	46.5%
榑浜	146	69	47.3%
鼓南	29	15	51.7%
菊川	166	84	50.6%
夜市	68	42	61.8%
戸田	80	49	61.3%
湯野	29	14	48.3%
須磨	5	2	40.0%
沼城	136	79	58.1%
大津島	8	3	37.5%
富田東	272	137	50.4%
富田西	213	123	57.7%
福川	129	75	58.1%
福川南	104	35	33.7%
和田	13	9	69.2%
無回答	-	31	-
総計	3,000	1,569	52.3%





## (8) 居住年数

居住年数については「41年以上」が20.1%で最も多くなっています。次いで「11～20年」(18.8%)、「4～10年」(17.7%)、「21～30年」(14.7%)、「31～40年」(14.1%)、「3年以内」(13.4%)の順になっています。

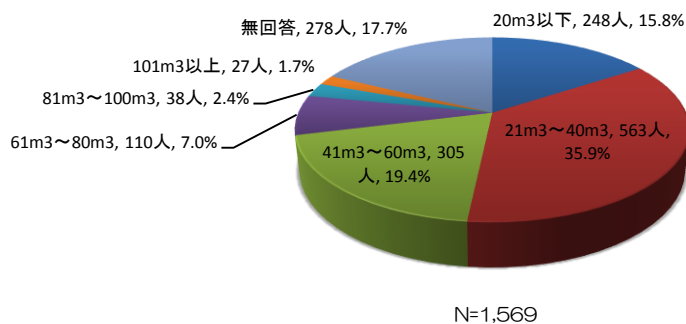


## (9) 水道使用量

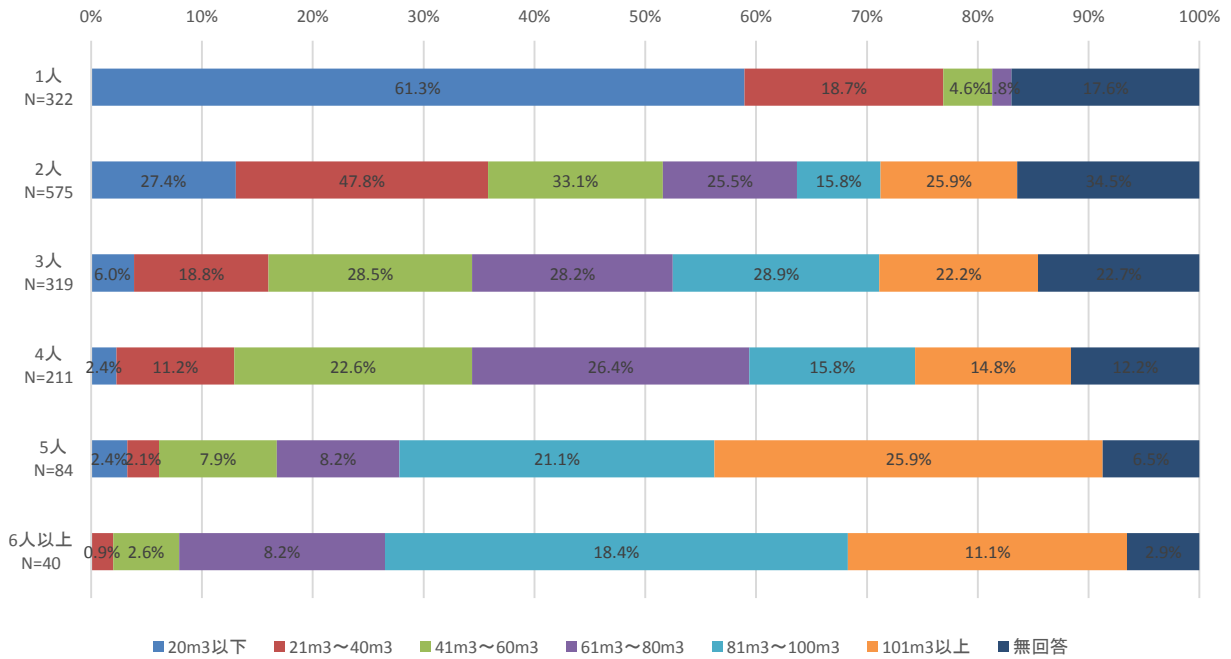
水道使用量については「21 m<sup>3</sup>～40 m<sup>3</sup>」が35.9%で最も多くなっています。次いで「41 m<sup>3</sup>～60 m<sup>3</sup>」(19.4%)、「20 m<sup>3</sup>以下」(15.8%)、「61 m<sup>3</sup>～80 m<sup>3</sup>」(7.0%)、「81 m<sup>3</sup>～100 m<sup>3</sup>」(2.4%)、「101 m<sup>3</sup>以上」(1.7%)の順になっています。

家族数別では、家族人数が少ないほど水道使用量が減少する傾向がみられます

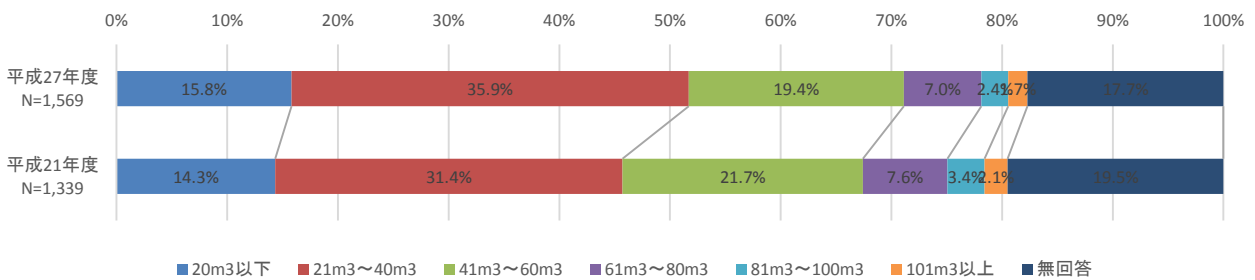
また、平成21年度調査と比べると、「20 m<sup>3</sup>以下」「21 m<sup>3</sup>～40 m<sup>3</sup>」の割合は増加しているのに対して、「41 m<sup>3</sup>～60 m<sup>3</sup>」「61 m<sup>3</sup>～80 m<sup>3</sup>」「81 m<sup>3</sup>～100 m<sup>3</sup>」「101 m<sup>3</sup>以上」の割合は減少しています。



## 【家族数別】

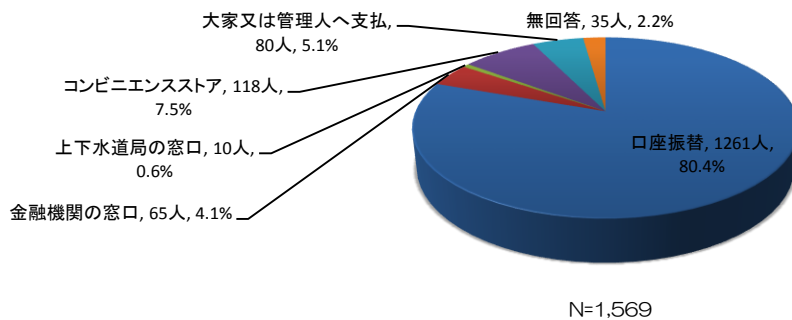


## 【経年比較】



## (10) 水道料金のお支払状況

水道料金のお支払状況については「口座振替」が80.4%で最も多くなっています。次いで「コンビニエンスストア」(7.5%)、「金融機関の窓口」(4.1%)、「大家又は管理人へ支払」(5.1%)、「上下水道局の窓口」(0.6%)の順になっています。



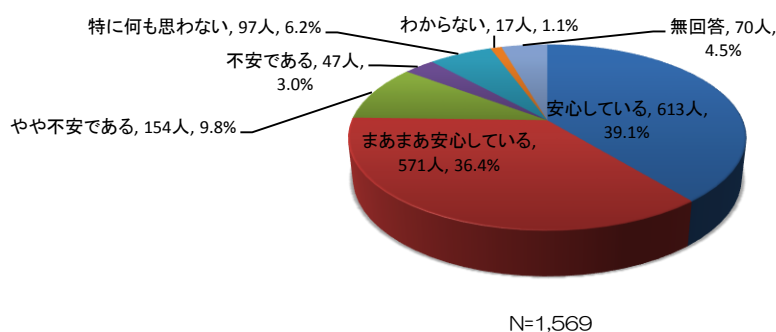
## 6. 調査結果

### (1) 水道水について

問 1 水道水の安全性について、どのように感じていますか？（〇は 1 つだけ）

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 安心している     | 4. 不安である    |
| 2. まあまあ安心している | 5. 特に何も思わない |
| 3. やや不安である    | 6. わからない    |

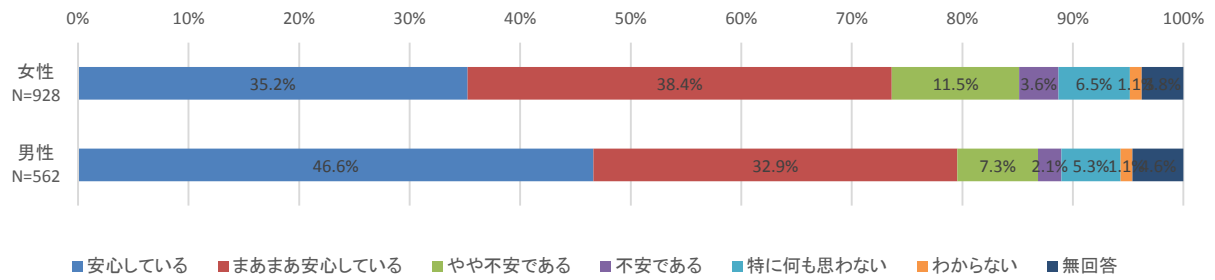
#### ① 単純集計



水道水の安全性については、「安心している」が39.1%で最も多く、これに「まあまあ安心している」36.4%をあわせて、水道水に安心を感じている人の割合は、全体の75.5%を占めています。また、「不安である」(3.0%)と「やや不安である」(9.8%)をあわせて、水道水に不安を感じている人の割合は全体の12.8%となっています。

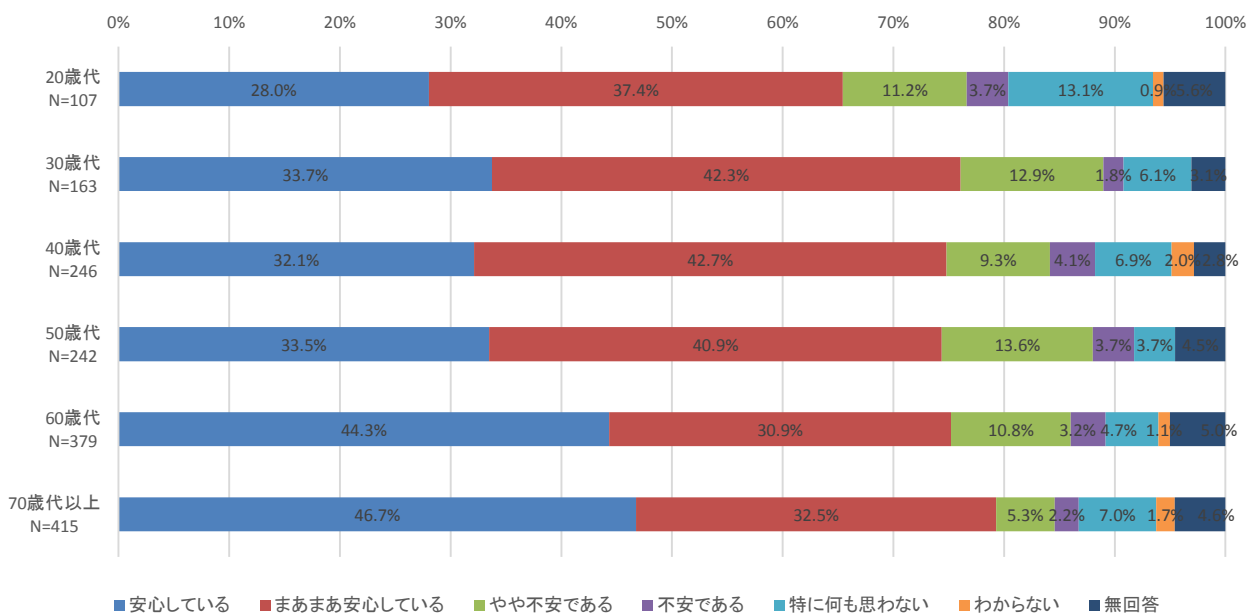
## ② 属性別集計

### 【性別】



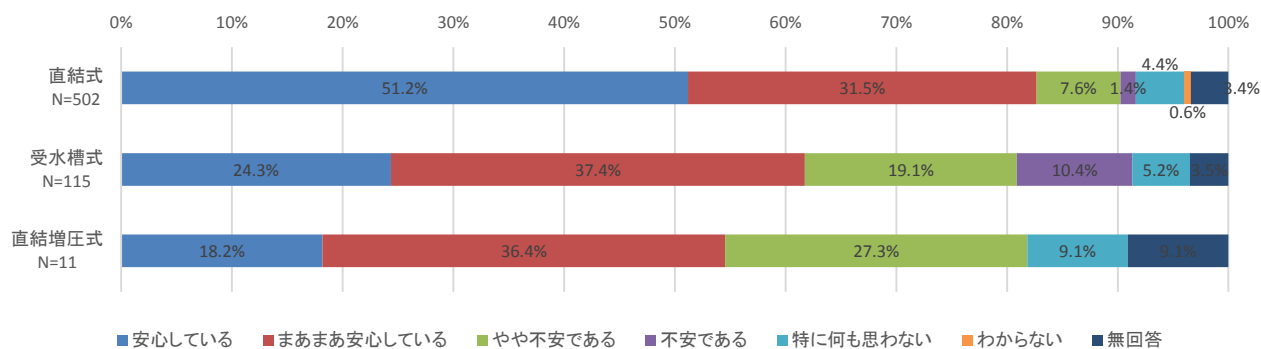
性別では、男性の方が女性に比べ安心している人の割合が高くなっています。

### 【年齢別】



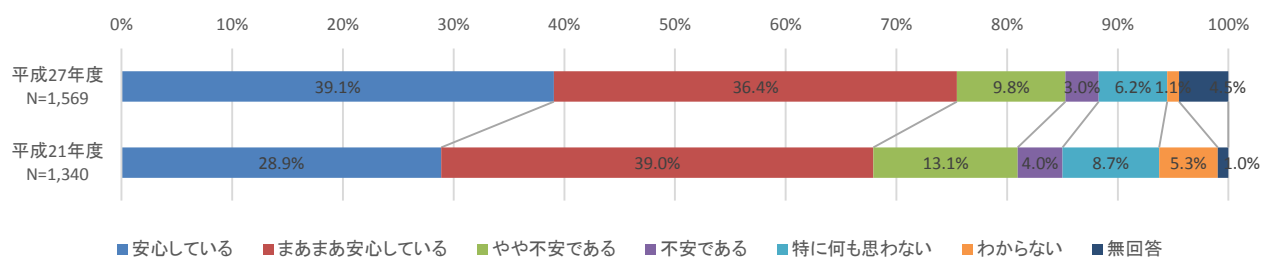
年齢別では、年齢が上がるほど安心している人の割合が多くなる傾向があり、すべての年代で安心している人の割合が過半数を占めています。

## 【給水方式別】



給水方式別で水質に安心を感じている人の割合をみると、「直結式」では82.7%と高くなっていますが、「受水槽式」では61.7%、直結増圧式では54.6%と「直結式」に比べて低くなっています。

## ③ 経年比較

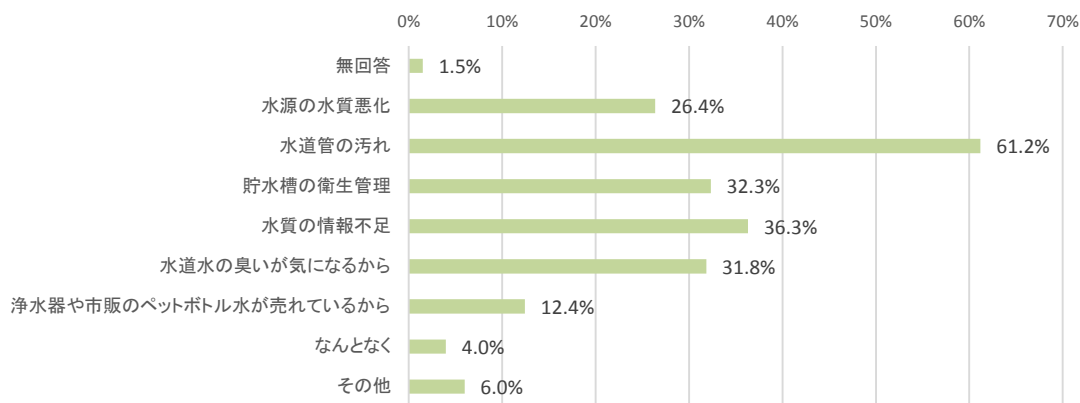


水質に安心を感じている割合は、平成21年度調査と比べると増加しており、今回（平成27年度）は75.5%となっています。

問2 問1で「3」、「4」とお答えになった方にお伺いします。やや不安、不安の理由はなんですか？  
 (〇はいくつでも)

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 1. 水源の水質悪化  | 5. 水道水のおい気になるから           |
| 2. 水道管の汚れ   | 6. 浄水器や市販のペットボトル水が売れているから |
| 3. 貯水槽の衛生管理 | 7. なんとなく                  |
| 4. 水質の情報不足  | 8. その他 ( )                |

① 単純集計



N=201

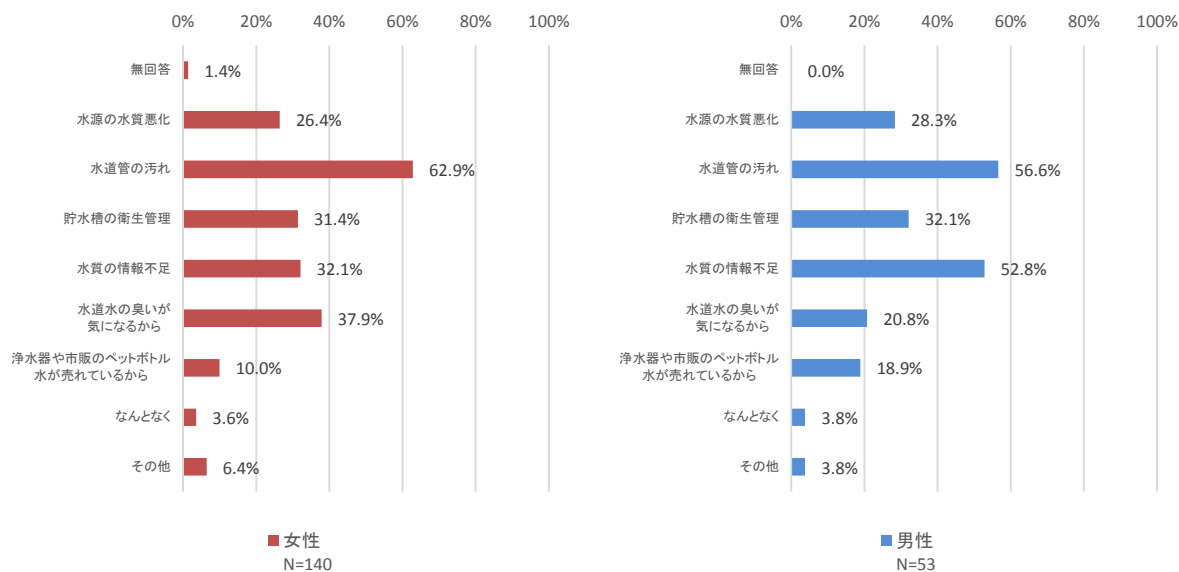
水道水が安全だと思えない理由として、「水道管の汚れ」が61.2%と最も高く、次いで「水質の情報不足」36.3%、「貯水槽の衛生管理」32.3%の順に高くなっています。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 最近カルキ臭が少ない分、強い薬が使用されているかもしれないから。
- ペットボトルに注ぐとたまに黒い不純物が混ざっているから。
- カルキ臭が強い時があるから。
- 浄水場の管理が不安だから。
- お腹が弱いので気を遣うから。
- 砂、金属、プラスチックなど蛇口の網にゴミがたまるから。
- 洗濯物が固くなったり、くすんだりするから。

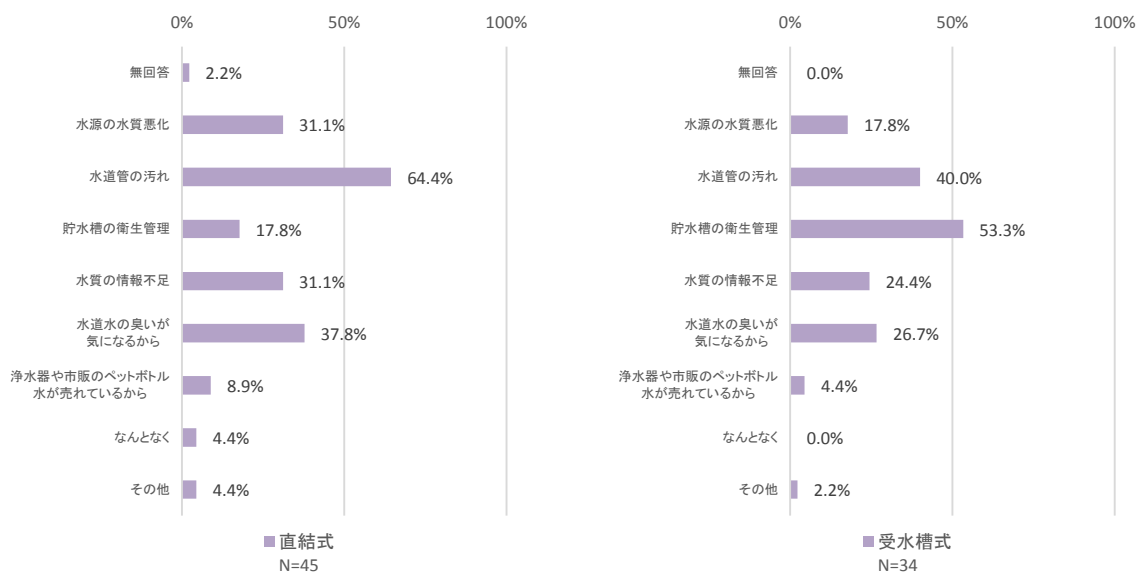
## ② 属性別集計

### 【性別】



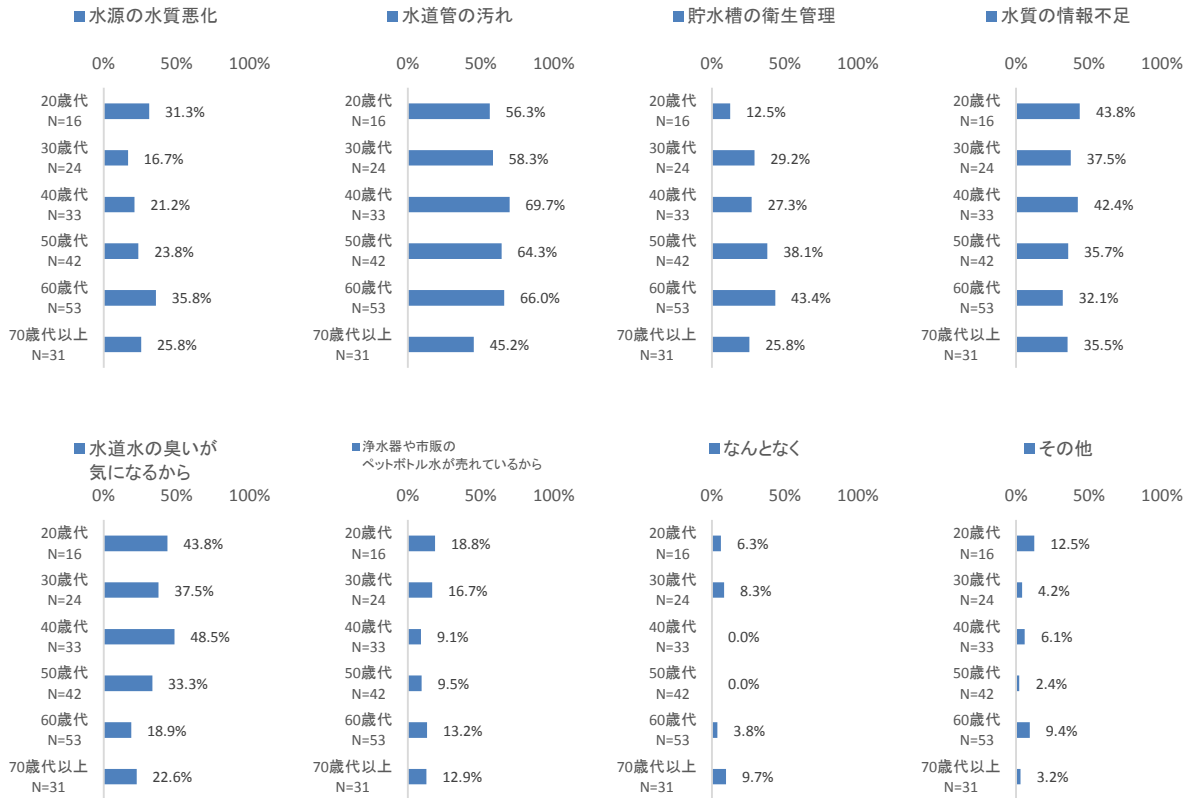
性別では、女性が「水道管の汚れ」62.9%、「水道水の臭いが気になるから」37.9%の順に高くなり、男性では「水道管の汚れ」56.6%、「水質の情報不足」52.8%の順となっています。

### 【給水方式別】



給水方式別では、「水道管の汚れ」は直結式で64.4%と高く、「貯水槽の衛生管理」は受水槽式で53.3%と高くなっています。

## 【年齢別】



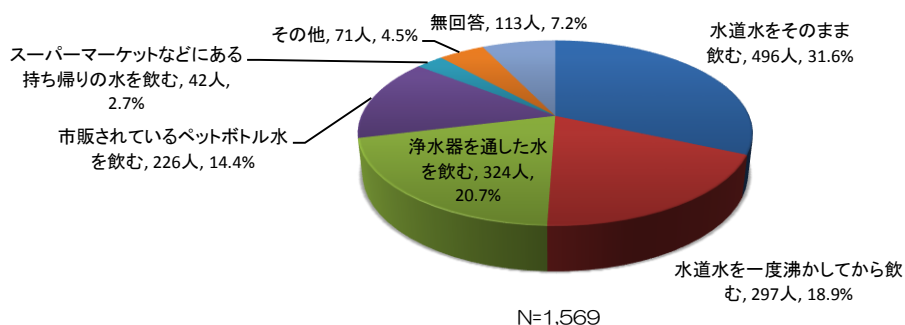
年齢別では、年齢層にかかわらず「水道管の汚れ」を選択される割合が最も高くなっています。



問3 主にどのような水を飲んでますか？（〇は1つだけ）

1. 水道水をそのまま飲む
2. 水道水を一度沸かしてから飲む
3. 浄水器を通した水を飲む
4. 市販されているペットボトル水を飲む
5. スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む
6. その他（ ）

### ① 単純集計



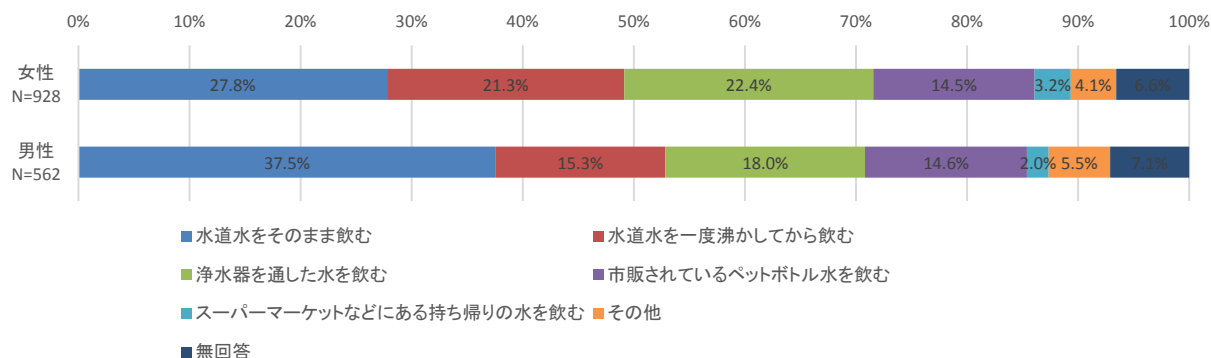
飲んでいる水の種類は「水道水をそのまま飲む」が 31.6%で最も多く、「浄水器を通した水を飲む」（20.7%）、「水道水を一度沸かしてから飲む」（18.9%）の順に割合が高くなっています。また、「市販されているペットボトル水を飲む」（14.4%）、「スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む」（2.7%）をあわせた 17.1%が市販の水を飲んでます。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 井戸水
- 湧水
- 水素水
- ウォーターサーバ水
- 毎月の定期購入
- コーヒー、お茶等、味を加えて飲む。
- 水を飲まない。

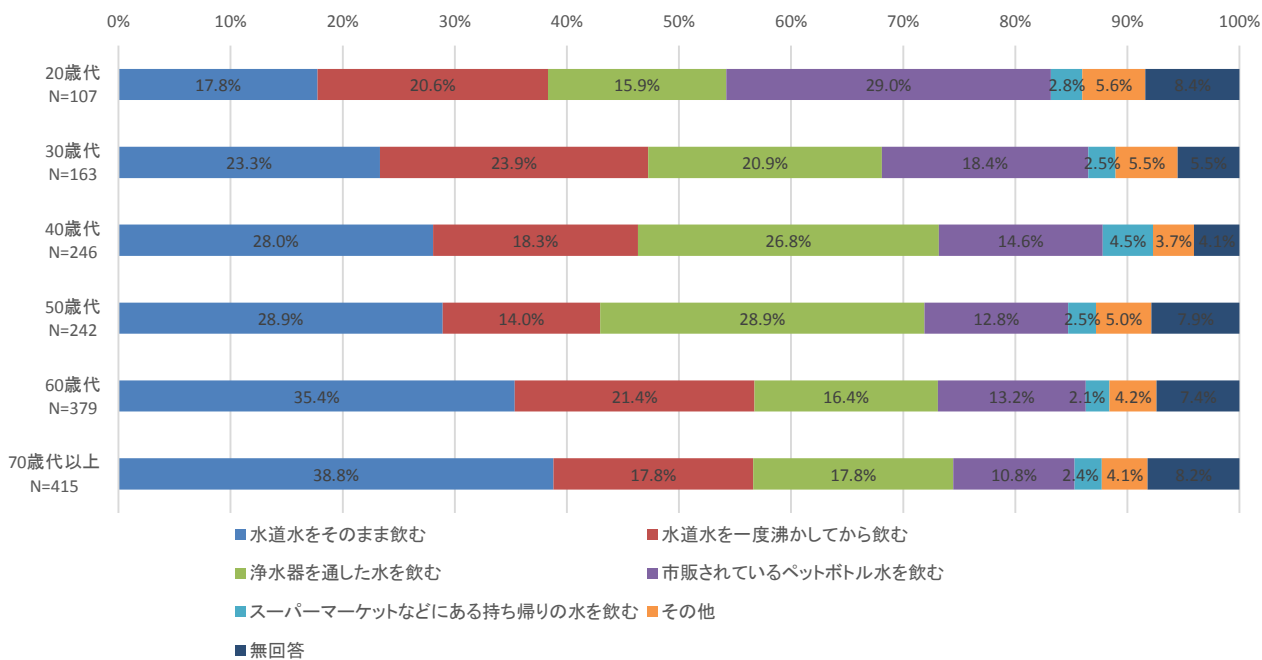
## ② 属性別集計

### 【性別】



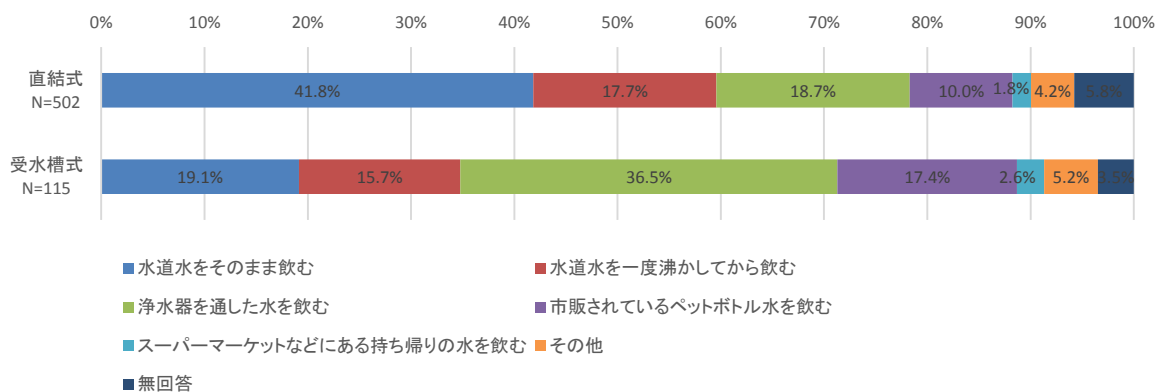
性別では、「水道水をそのまま飲む」の割合は男性が37.5%で女性の27.8%より高くなっています。一方、「水道水を一度沸かしてから飲む」「浄水器を通した水を飲む」をあわせると、男性が33.3%、女性が43.7%となっており、女性の方が高くなっています。

### 【年齢別】



年齢別では、「水道水をそのまま飲む」の割合は年齢層が上がるほど増加する傾向がみられます。一方「市販されているペットボトル水を飲む」の割合は年齢層が下がるほど増加する傾向がみられます。

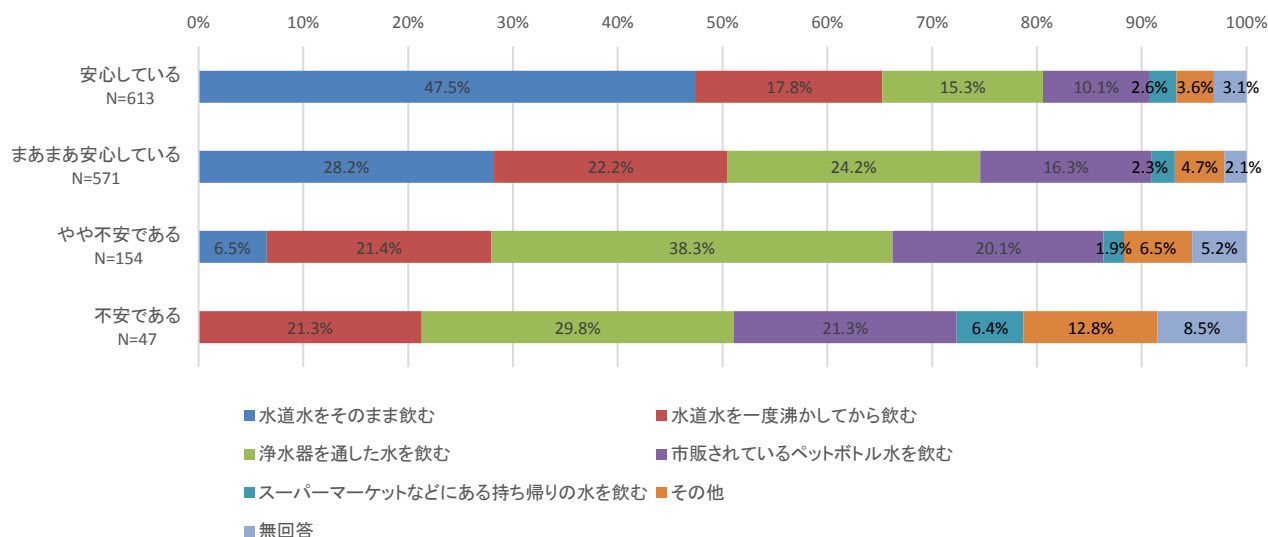
## 【給水方式別】



給水方式別では、「水道水をそのまま飲む」割合は、直結式が41.8%であるのに対し、受水槽式では19.1%となっています。また、「浄水器を通した水を飲む」割合は、受水槽式が36.5%と、直結式の18.7%に比べ高くなっています。

## ③ その他の集計

### 【水道水に対する安心感による違い】

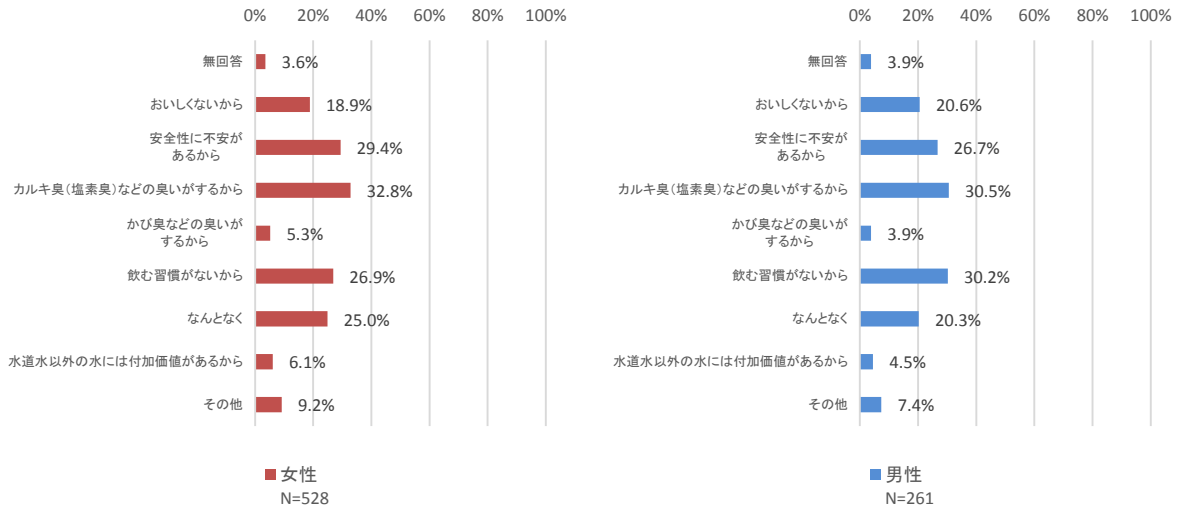


水道水に対する安心感が上がるにつれて、「水道水をそのまま飲む」が選択される割合が高くなる傾向がみられます。一方で、水道水の安全性に対して不安が増すほど「水道水を一度沸かしてから飲む」「浄水器を通した水を飲む」「市販されているペットボトル水を飲む」などの加工した水、水道水以外の水を飲む割合が高くなっています。



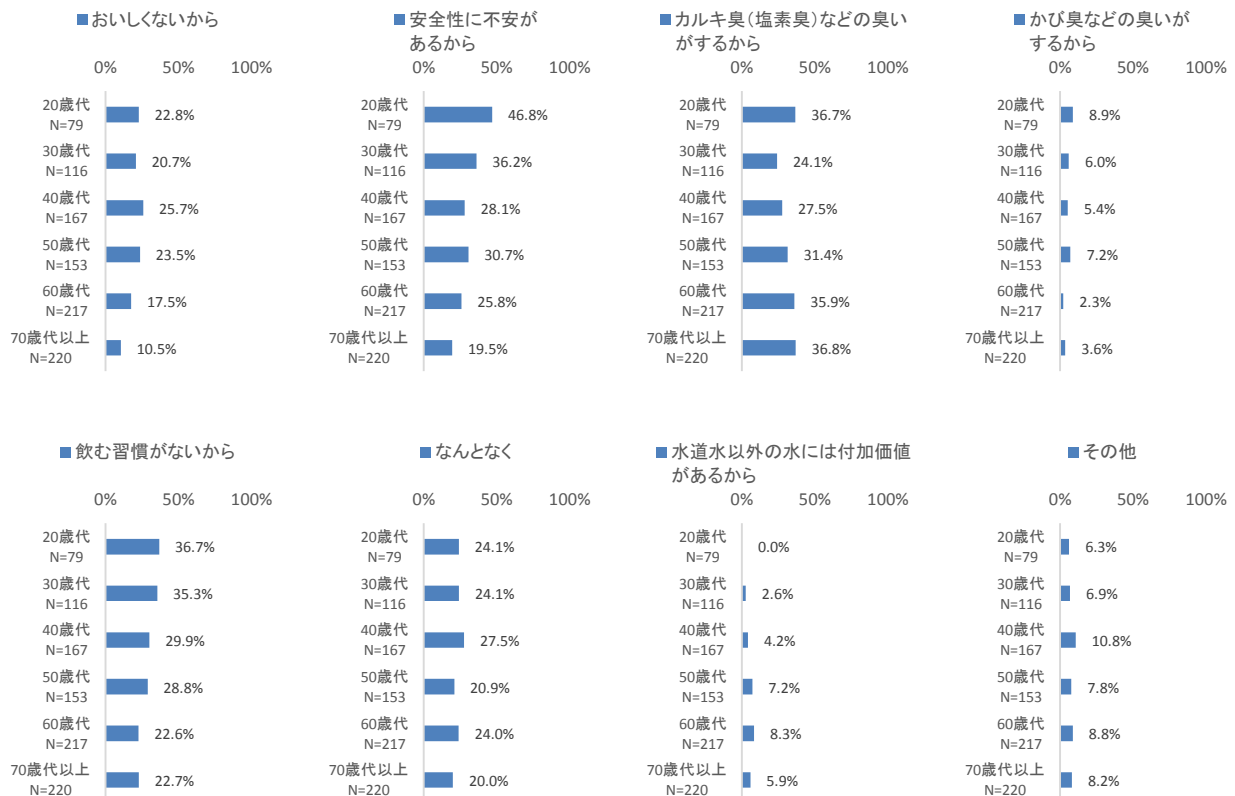
## ② 属性別集計

### 【性別】



性別では、男女ともに「カルキ臭（塩素臭）などの臭いがするから」が最も高く、類似した傾向となっています。

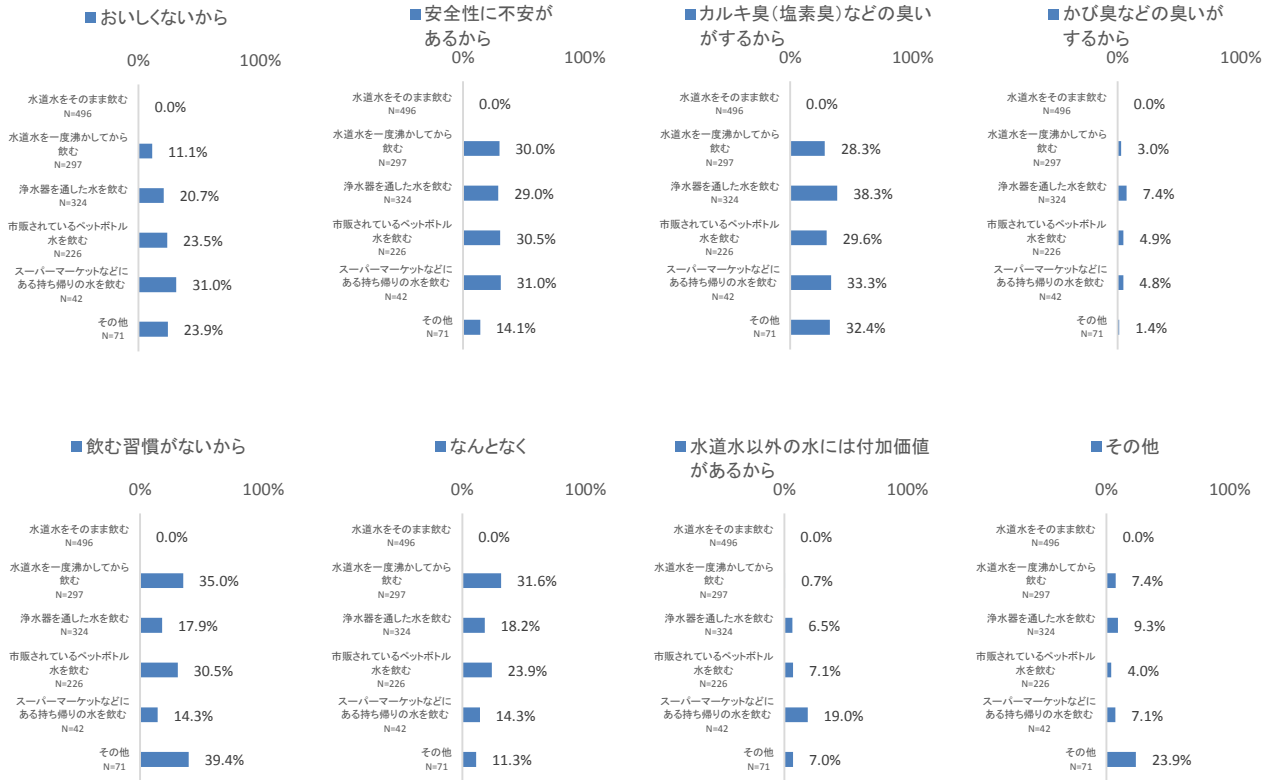
### 【年齢別】



年齢別では、「安全性に不安があるから」は20歳代で46.8%、30歳代で36.2%と最も高くなっています。また、「飲む習慣がない」は40歳代で29.9%、「カルキ臭（塩素臭）などの臭いがするから」は50歳代で31.4%、60歳代で35.9%、70歳代以上で36.8%とそれぞれ高くなっています。

### ③ その他の集計

#### 【飲んでいる水の種類による違い】



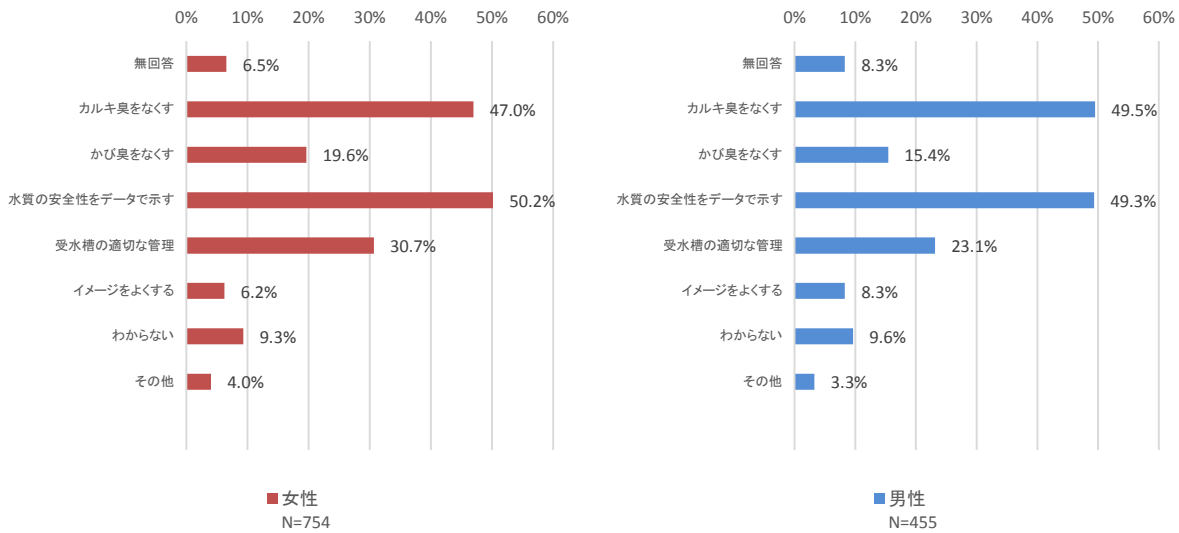
飲んでいる水の種類にかかわらず、概ね「おいしくないから」「安全性に不安があるから」「カルキ臭（塩素臭）などの臭いがするから」「飲む習慣がないから」「なんとなく」を選択する割合が高くなっています。

例外として「スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む」場合には、「水道水以外の水には付加価値があるから」を選択する割合が他と比べて高くなっています。



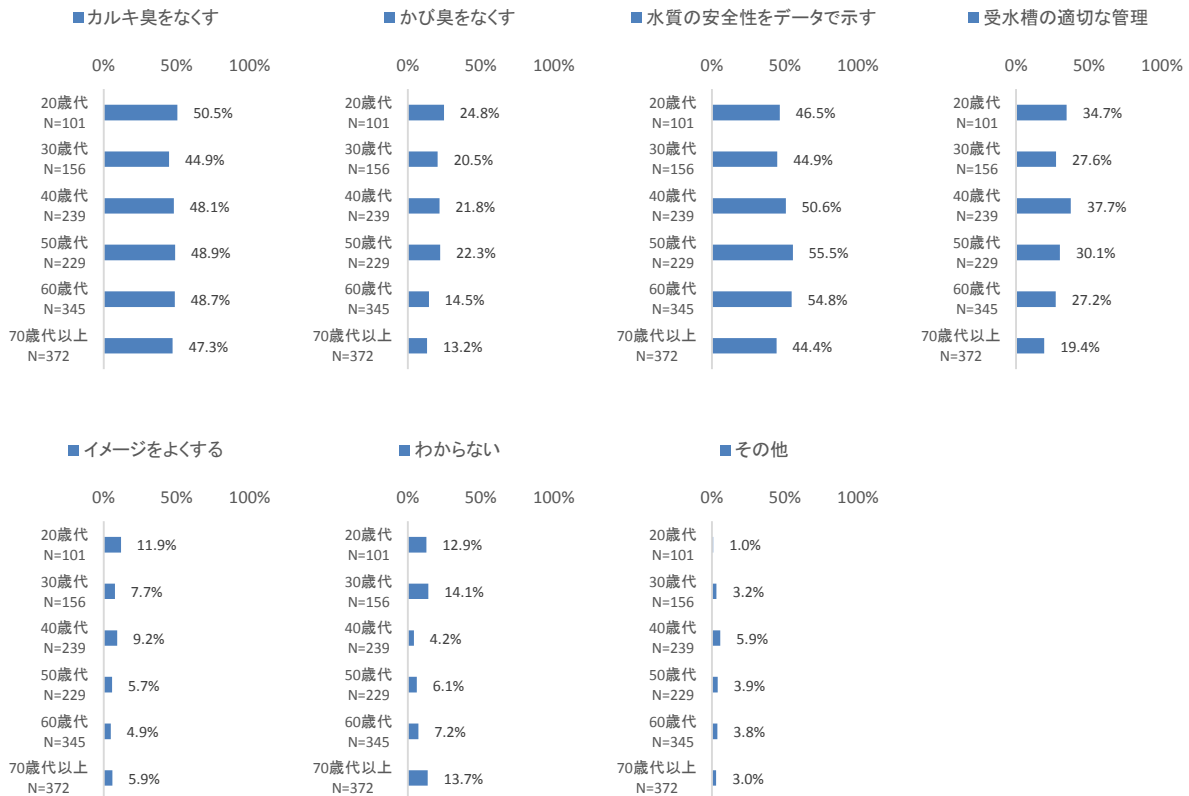
## ② 属性別集計

### 【性別】



性別では、男女ともに「カルキ臭をなくす」「水質の安全性をデータで示す」の割合が高く、類似した傾向となっています。

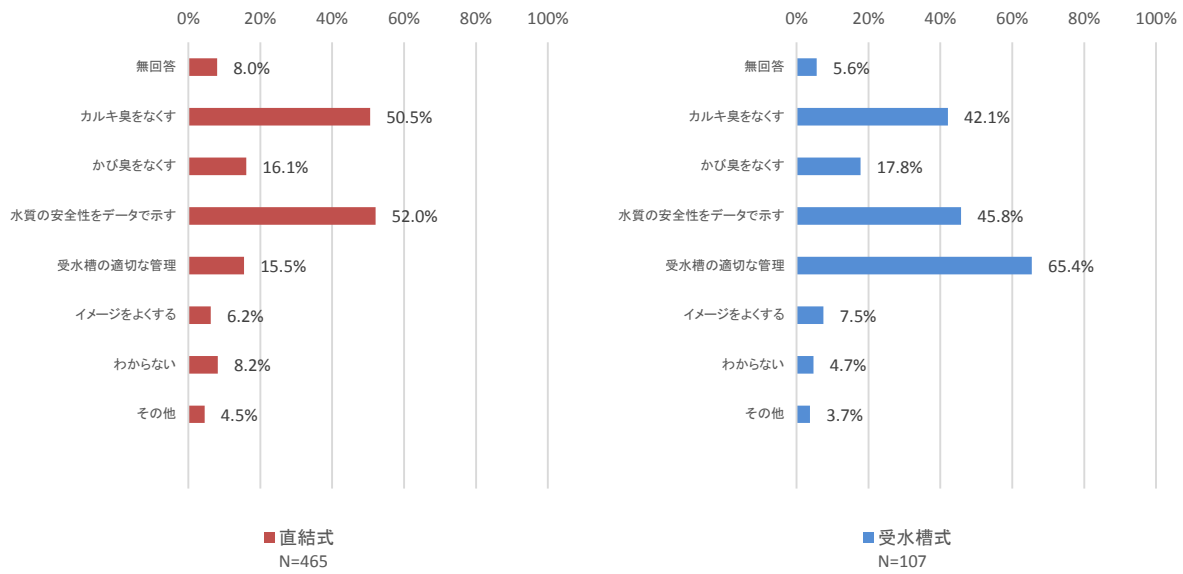
### 【年齢別】



年齢別では、年齢層にかかわらずどの年代でも「カルキ臭をなくす」「水質の安全性をデータで示す」の割合が高くなっています。「かび臭をなくす」については年齢が下がるにつれて選択される割合が高くなる傾向がみられます。



## 【給水方式別】



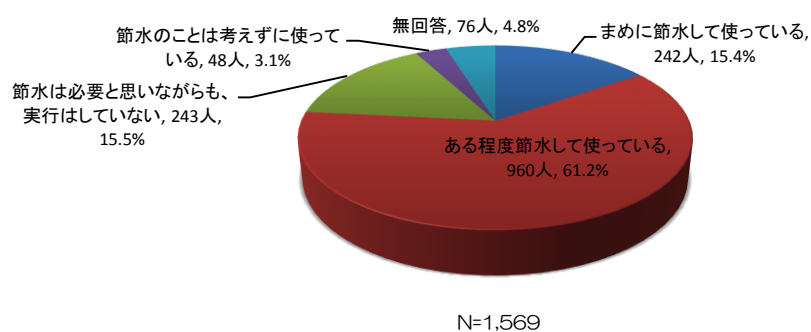
給水方式別では「水質の安全性をデータで示す」が直結式で52.0%、「受水槽の適切な管理」が受水槽式で65.4%とそれぞれ選択される割合が高くなっています。

## (2) 節水について

問6 日頃、水をどのように使っていますか？（〇は1つだけ）

1. まめに節水して使っている
2. ある程度節水しながら使っている
3. 節水は必要と思いつながら、実行はしていない
4. 節水のことは考えずに使っている

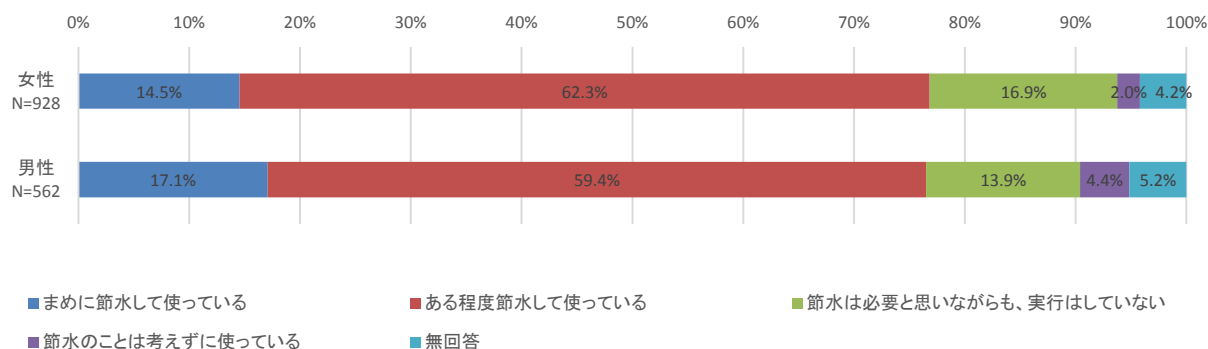
### ① 単純集計



日頃の水の使い方として、「ある程度節水しながら使っている」が61.2%と過半数を占めており、これに「まめに節水して使っている」の15.4%をあわせた全体の8割弱の方が節水に心がけておられます。

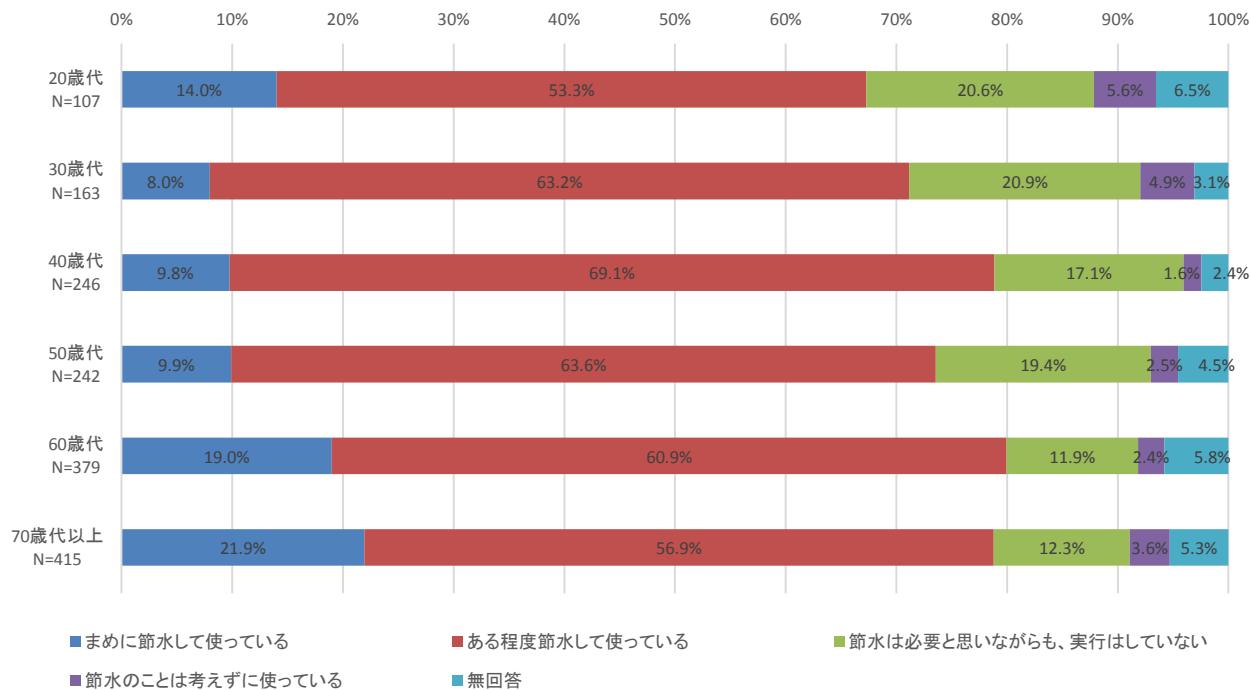
## ② 属性別集計

### 【性別】



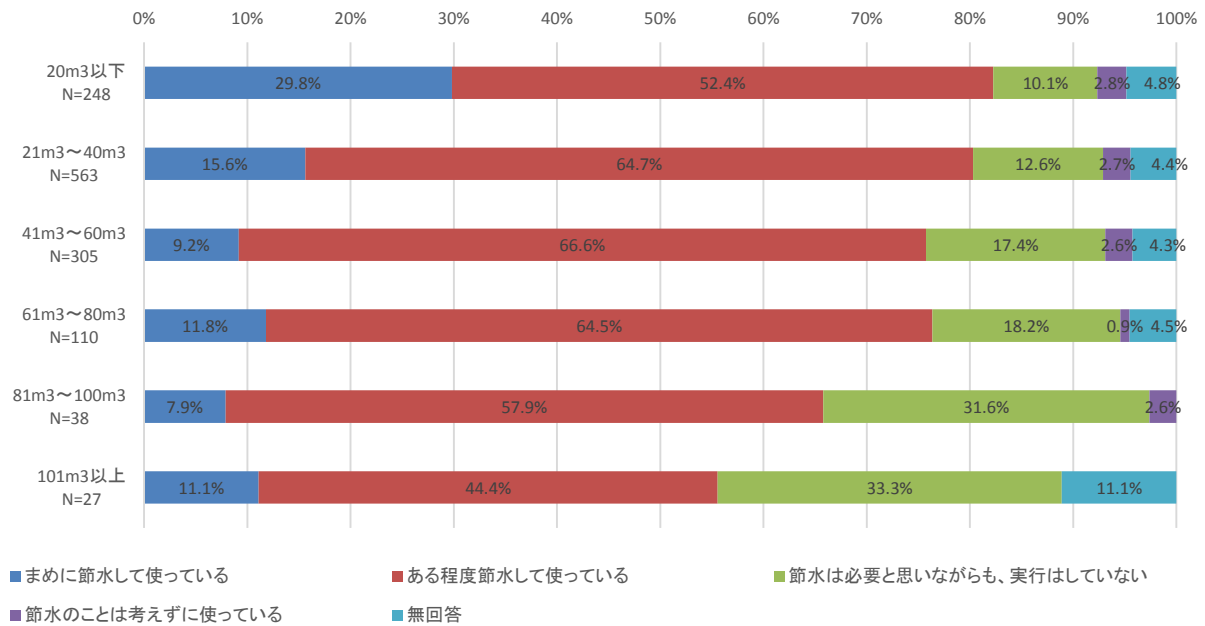
性別では、「まめに節水して使っている」「ある程度節水して使っている」をあわせると、女性が76.8%、男性が76.5%となっています。

### 【年齢別】



年齢別では、60歳代が「まめに節水して使っている」「ある程度節水して使っている」をあわせた割合が最も高くなっています。また、概ね年齢層が上がるほど「まめに節水して使っている」を選択する割合が高くなる傾向があります。

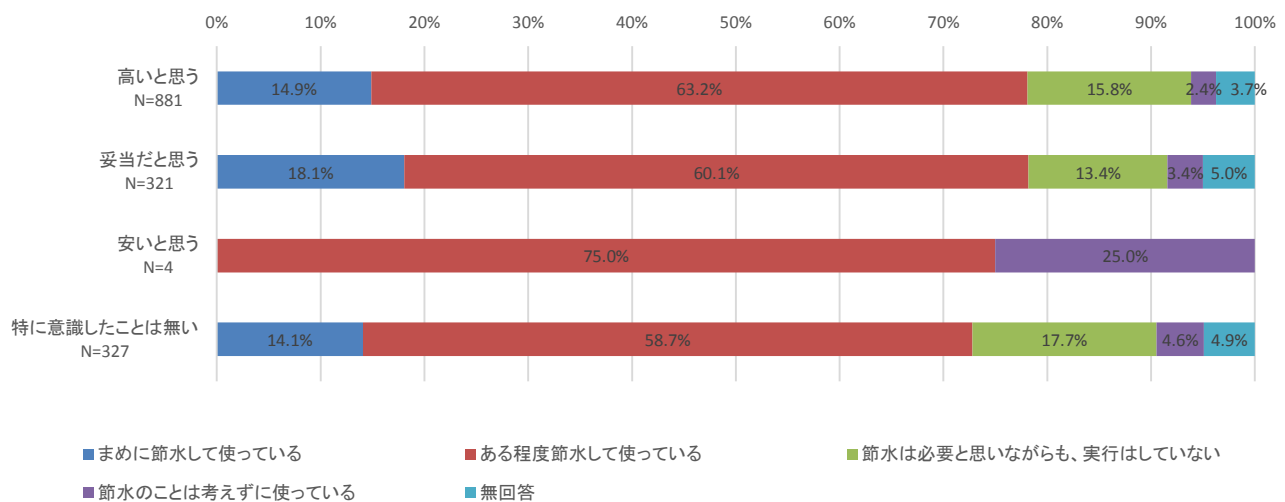
## 【使用水量別】



使用水量別では、「まめに節水して使っている」「ある程度節水して使っている」を合わせた割合は20 m³以下で最も高くなっています。一方「節水は必要と思いつながら、実行はしていない」「節水のことは考えずに使っている」を合わせた割合は81~100 m³で高くなっています。

## ③ その他の集計

### 【水道料金への感じ方による違い】

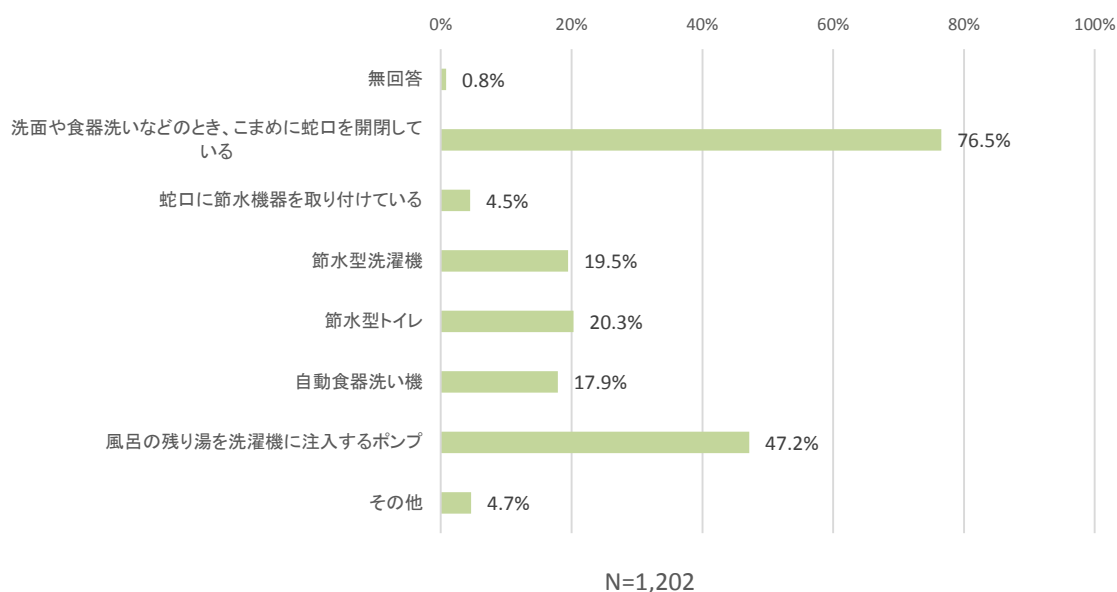


水道料金に対する感じ方にかかわらず、「まめに節水して使っている」「ある程度節水して使っている」を選択する方が7割程度となっています。

問7 問6で「1」、「2」とお答えになった方にお伺いします。次のうち、ご家庭で行っている節水の取組や節水機器はありますか？（〇はいくつでも）

1. 洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している
2. 蛇口に節水機器を取り付けている
3. 節水型洗濯機
4. 節水型トイレ
5. 自動食器洗い機
6. 風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ
7. その他（ ）

### ① 単純集計



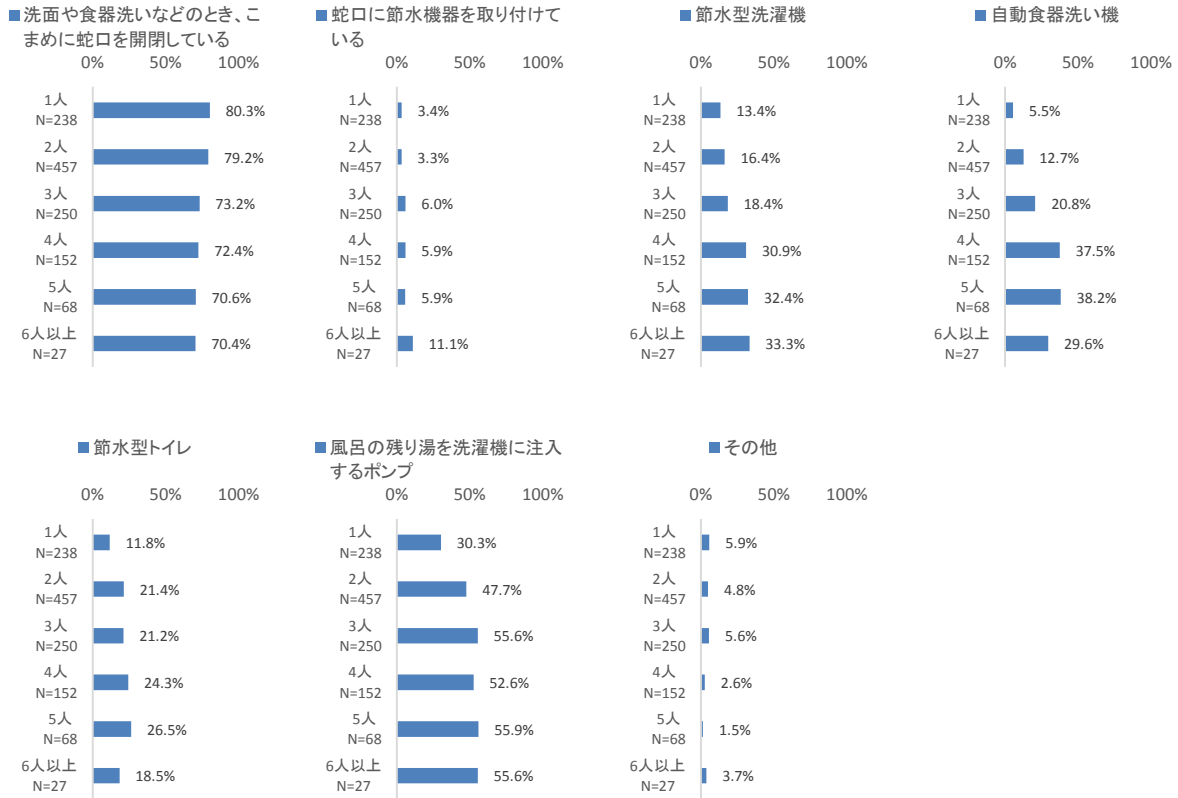
節水の取組方法として、「洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している」が76.5%と最も高く、次いで「風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ」の47.2%の順に高くなっています。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 野菜などを洗った水は植木に撒いている。
- 除湿機、クーラーから出る水は庭に撒いている。
- トイレの水タンクの中に500mlのペットボトル（水入り）を沈めている。
- シャワーヘッドを節水タイプに替えた。
- 風呂の残り湯を掃除などに使う。
- 入浴回数を減らす。
- 洗濯洗剤はすすぎが1回のものを使用する。
- 洗濯のすすぎは流しすすぎではなく、溜めすすぎにする。

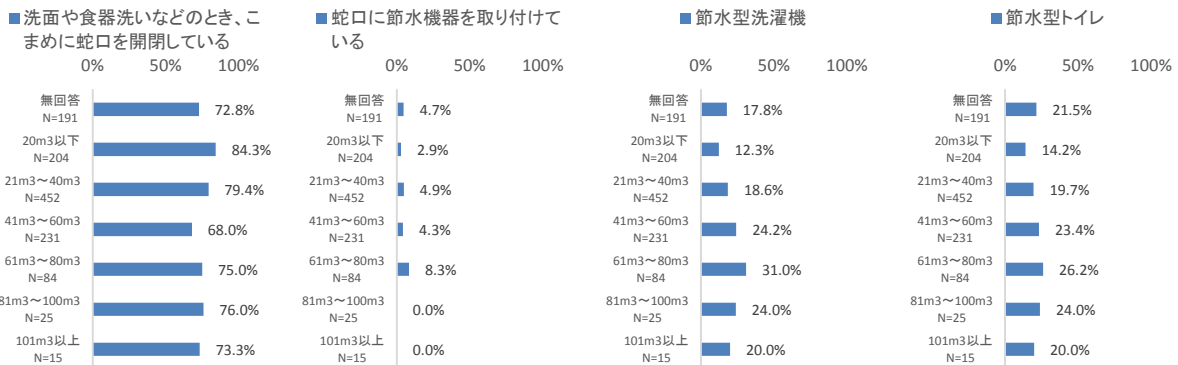
## ② 属性別集計

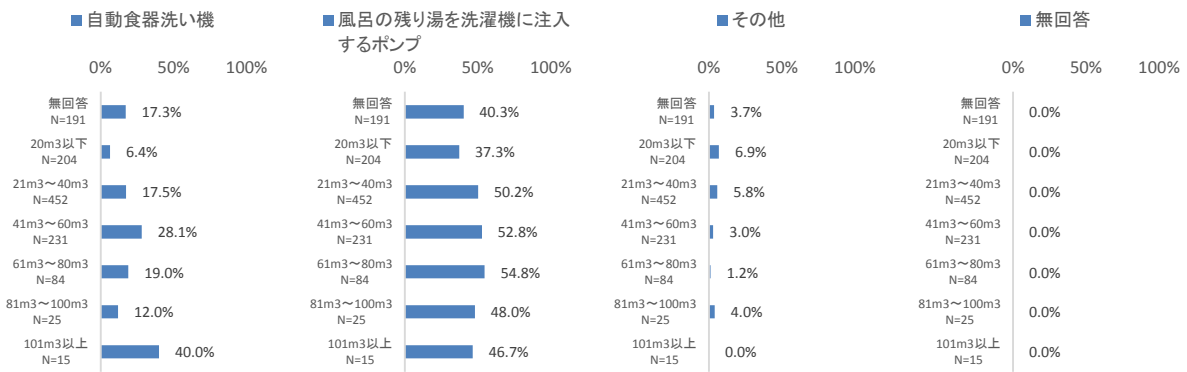
### 【家族数別】



家族数別では、家族人数によらず「洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している」「風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ」の順に選択される割合が高くなっています。「節水型洗濯機」「自動食器洗い機」「節水型トイレ」については、概ね家族人数が多くなるほど選択される割合が高くなる傾向がみられます。

### 【使用水量別】





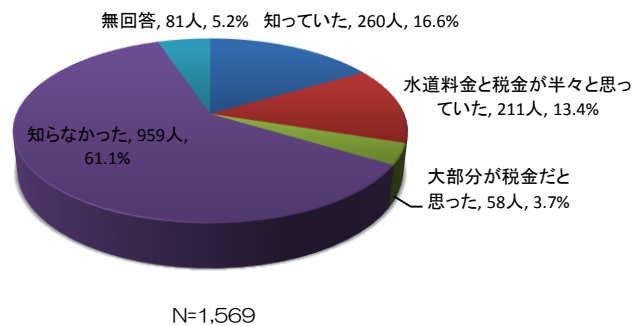
使用水量別では、使用水量によらず「洗面や食器洗いなどのとき、こまめに蛇口を開閉している」「風呂の残り湯を洗濯機に注入するポンプ」が選択される割合が高くなっています。

### (3) 水道事業について

問 8 水道事業は、お客様にお支払い頂いた水道料金を財源として独立採算で経営されています。水道事業の経営には、ほとんど税金が使われていないことをご存じですか？（〇は 1 つだけ）

1. 知っていた
2. 水道料金と税金が半々くらいと思った
3. 大部分が税金だと思った
4. 知らなかった

#### ① 単純集計

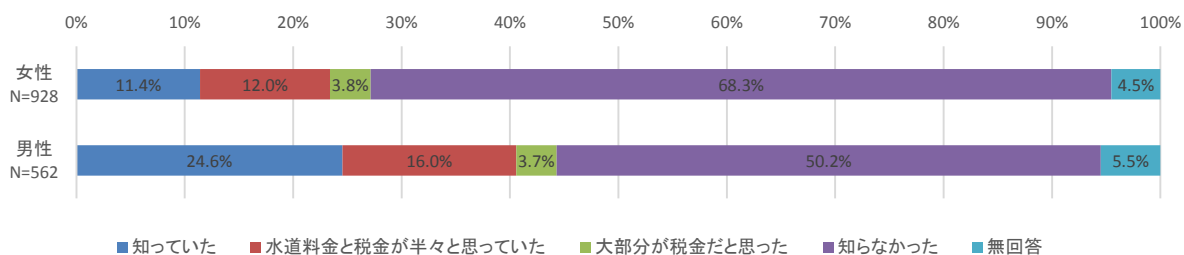


水道事業のほとんどの経費が水道料金でまかなわれていることについて、「知っていた」が 16.6%であるのに対し、「知らなかった」が 61.1%と過半数を占めています



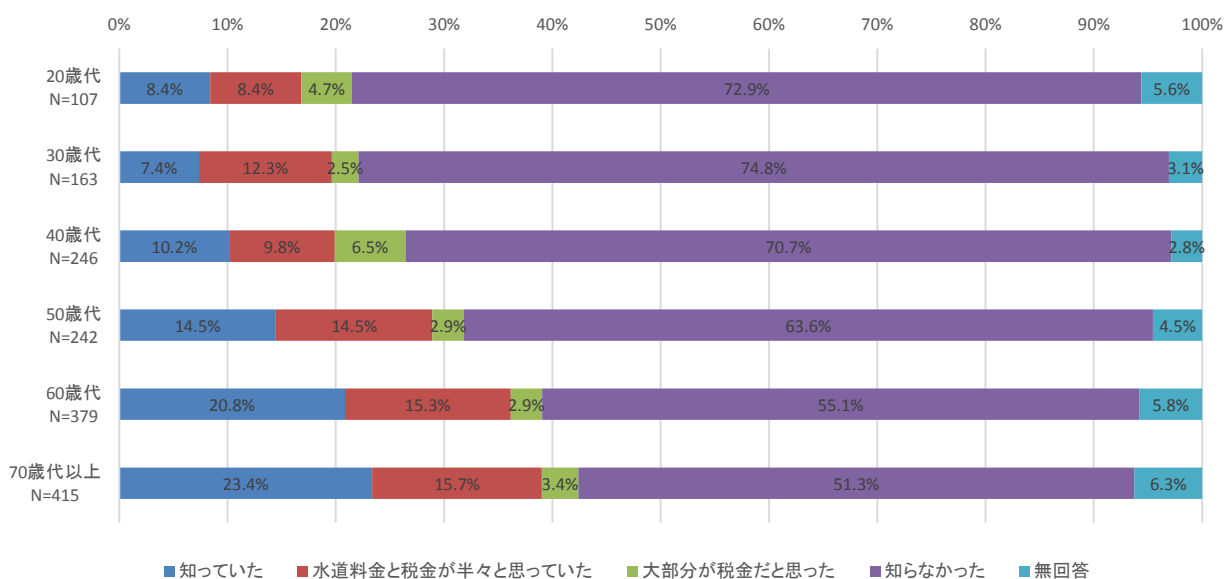
## ② 属性別集計

### 【性別】



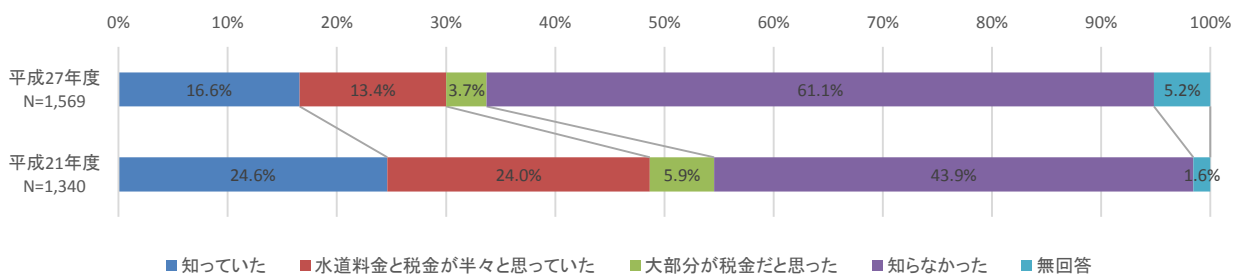
性別では、「知っていた」の割合は男性が24.6%で女性の11.4%と比べて高くなっています。

### 【年齢別】



年齢別では、「知っていた」の割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向がみられ、「70歳代以上」では23.4%となっています。

## ③ 経年比較

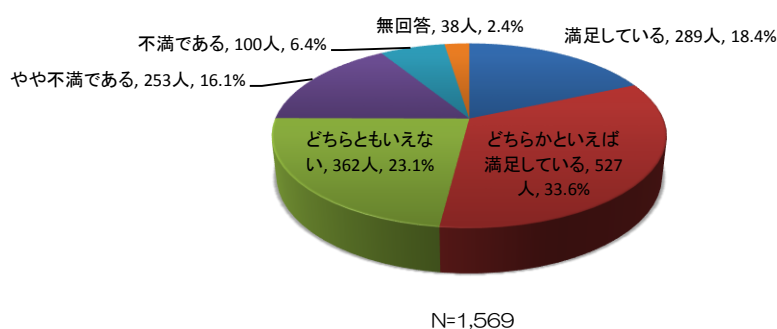


水道事業のほとんどの経費が水道料金でまかなわれていることについて、「知っていた」の割合は平成21年度調査と比べると減少しており、今回（平成27年度）は16.6%となっています。

問9 あなたは、水道水の水質や安定した給水、水道料金などの周南市の水道事業全体についてどの程度満足されていますか？（〇は1つだけ）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

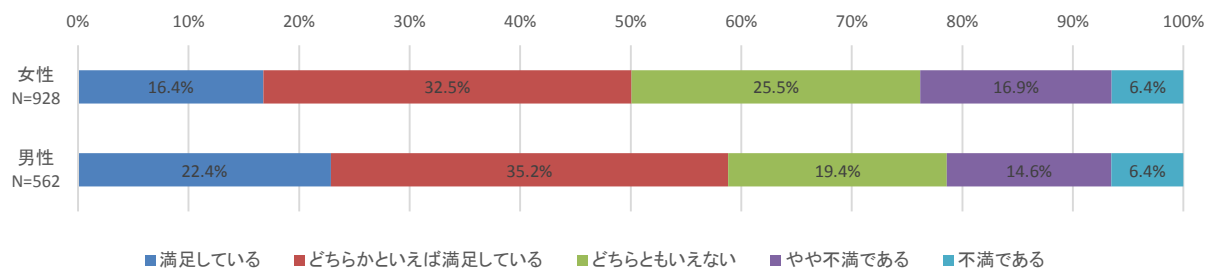
### ① 単純集計



満足度については、「どちらかといえば満足している」が33.6%で最も多く、これに「満足している」の18.4%をあわせると52.0%となり、過半数の方が満足されております。一方「やや不満である」「不満である」をあわせた22.5%の方は不満をもたれています。

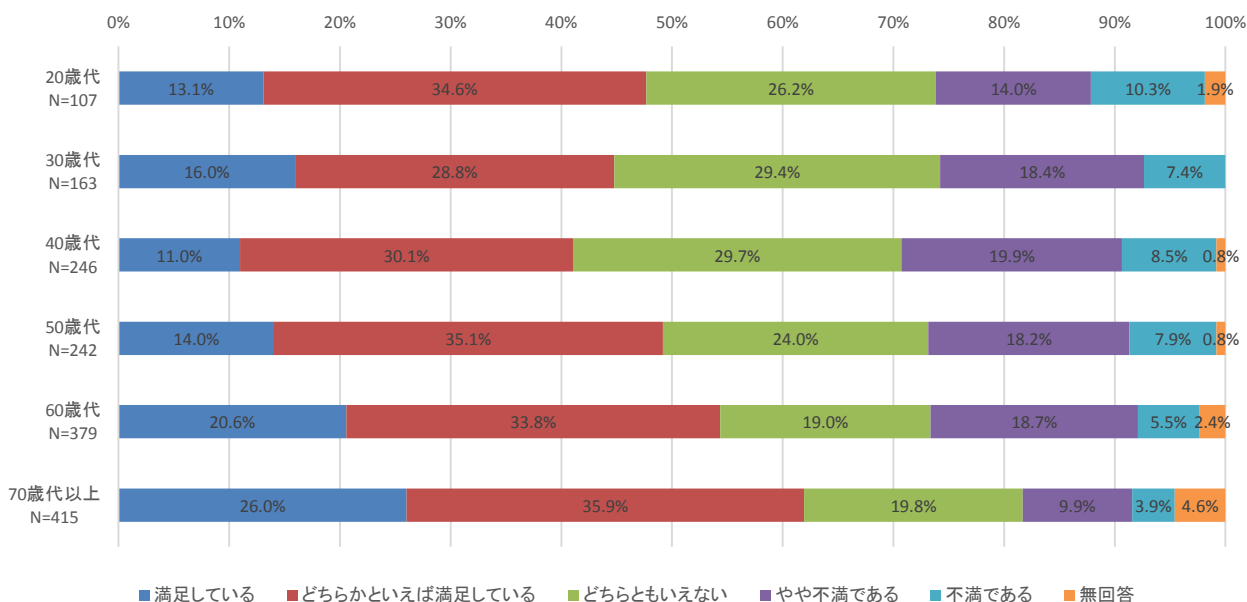
## ② 属性別集計

### 【性別】



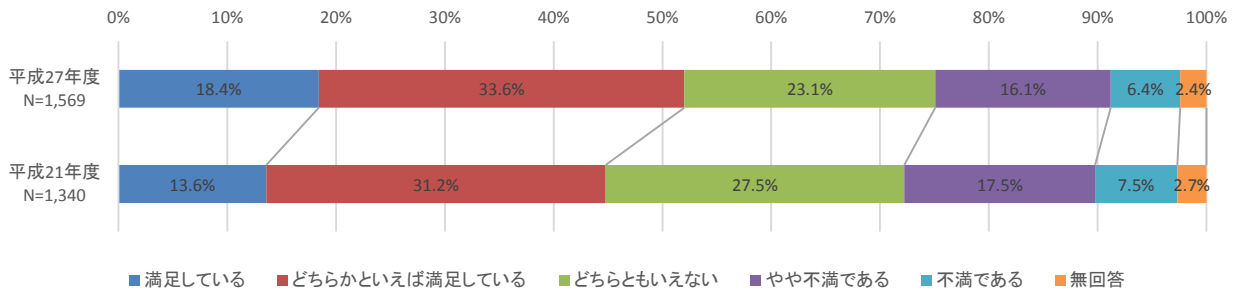
性別では、「満足している」「どちらかといえば満足している」をあわせた割合は、男性が 57.6%、女性が 48.9%となっています。

### 【年齢別】



年齢別では、「満足している」「どちらかといえば満足している」をあわせた割合は 70 歳代以上が最も高くなっています。一方、「やや不満である」「不満である」をあわせた割合は 40 歳代が最も高くなっています。

### ③ 経年比較



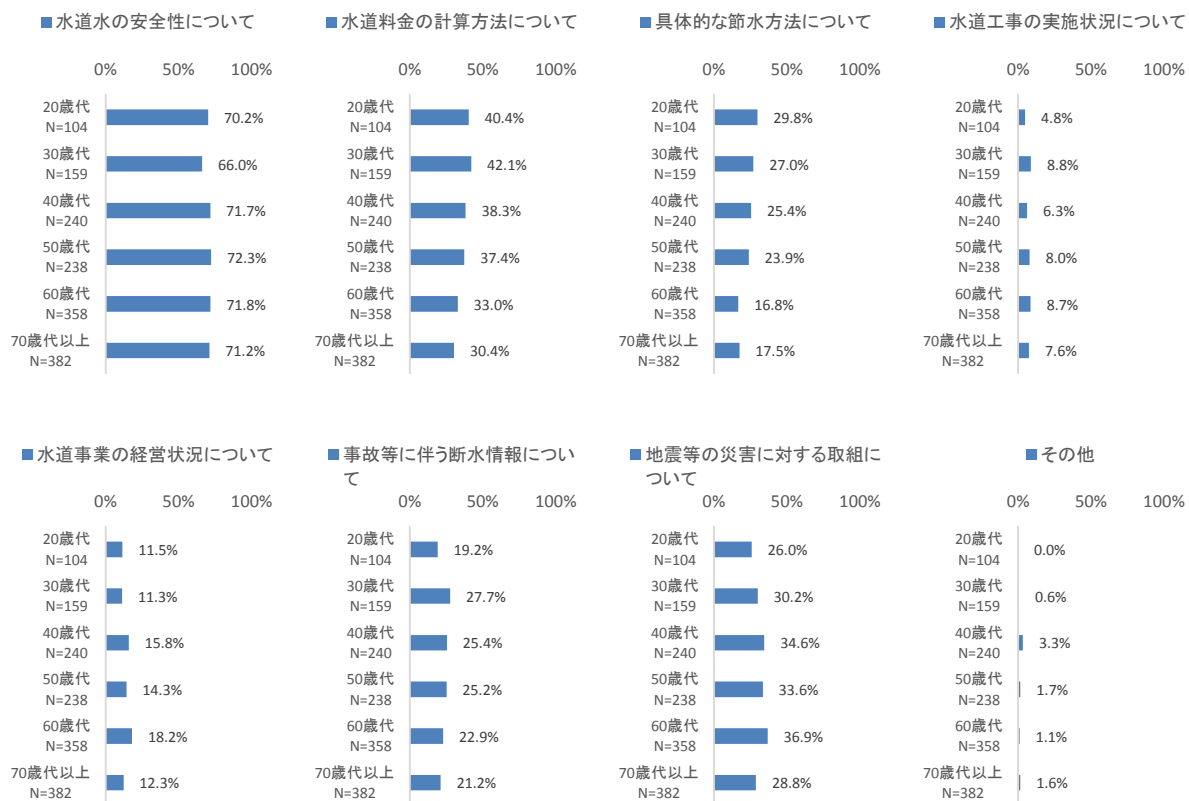
前回（平成21年度）調査との比較では、「満足している」「どちらかといえば満足している」をあわせた割合は増加しており、今回調査では52.0%となっています。





## ② 属性別集計

### 【年齢別】



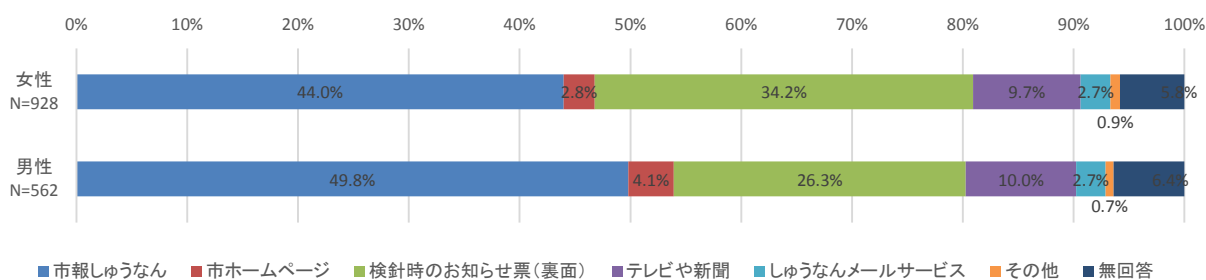
年齢別では、どの年齢においても「水道水の安全性について」「水道料金の計算方法について」を選択する割合が高くなっています。「具体的な節水方法について」は年齢層が下がるほど選択される割合が高くなる傾向があります。





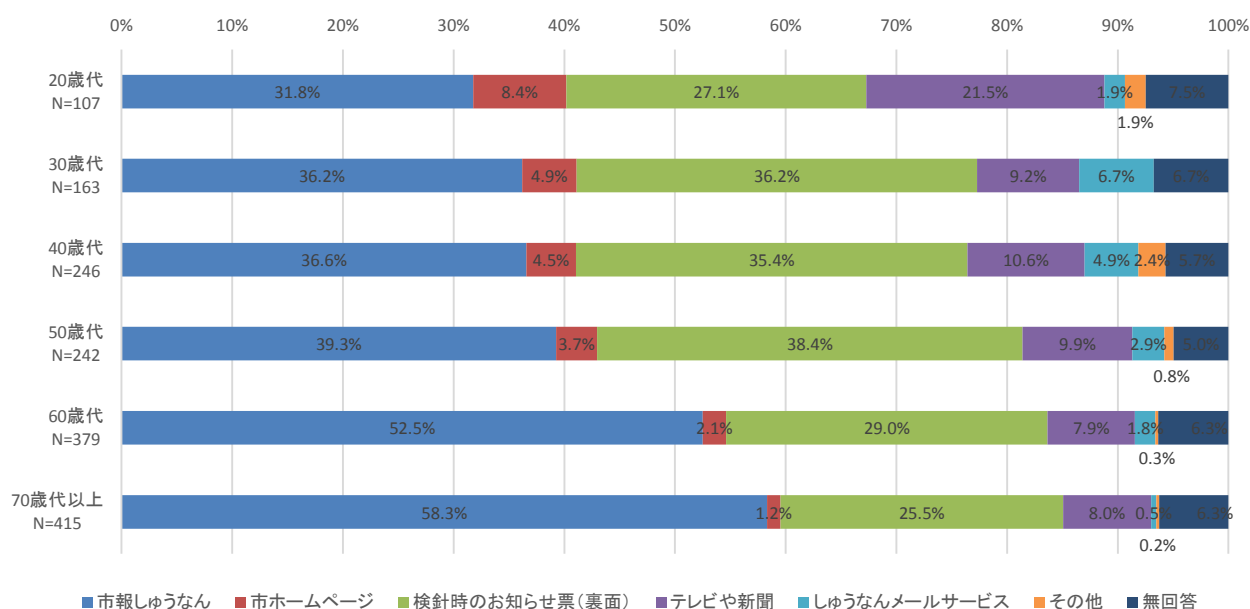
## ② 属性別集計

### 【性別】



性別では、「市報しゅうなん」の割合は、男性が49.8%で女性の44.0%と比べると高くなっています。また、「検針時のお知らせ（裏面）」については、女性が34.2%で男性の26.3%と比べると高くなっています。

### 【年齢別】



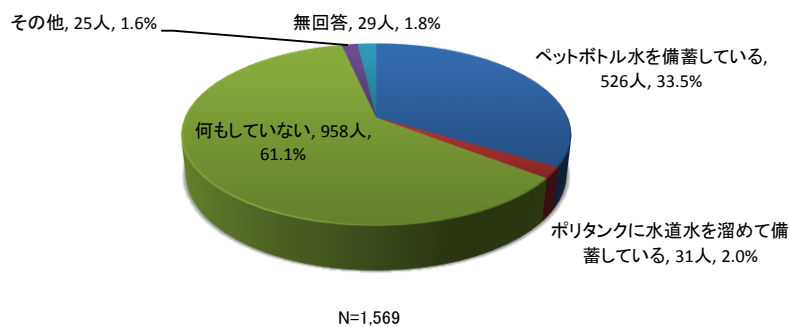
年齢別では、「市報しゅうなん」の割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向がみられます。「検針時のお知らせ（裏面）」については30歳代～50歳代で高くなっています。また、「テレビや新聞」は年齢層が下がるにつれて高くなる傾向があります。

## (5) 災害時の水の備蓄について

問13 あなたのご家庭では、災害に備えて飲料水をどのように備蓄されていますか？（〇は 1 つだけ）

1. ペットボトル水を備蓄している
2. ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している
3. 何もしていない
4. その他（ ）

### ① 単純集計



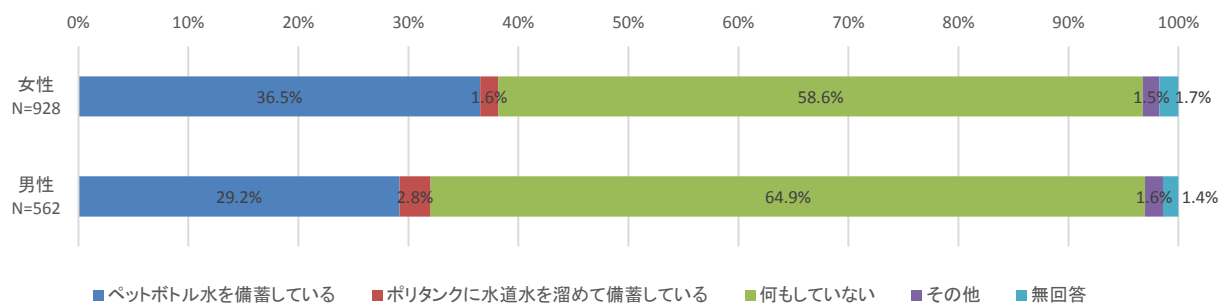
災害に備えた飲料水の備蓄については、「ペットボトル水を備蓄している」「ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している」をあわせた備蓄している人の割合は 35.5%となっています。一方、「何もしていない」が 61.6%と過半数を占めています。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 情報を聞きながら、臨機応変に対応する。
- 定期的に水を購入している。
- エコキュートで備蓄対応している。
- 水は備えていませんが、お茶、ジュース等を購入して備蓄している。

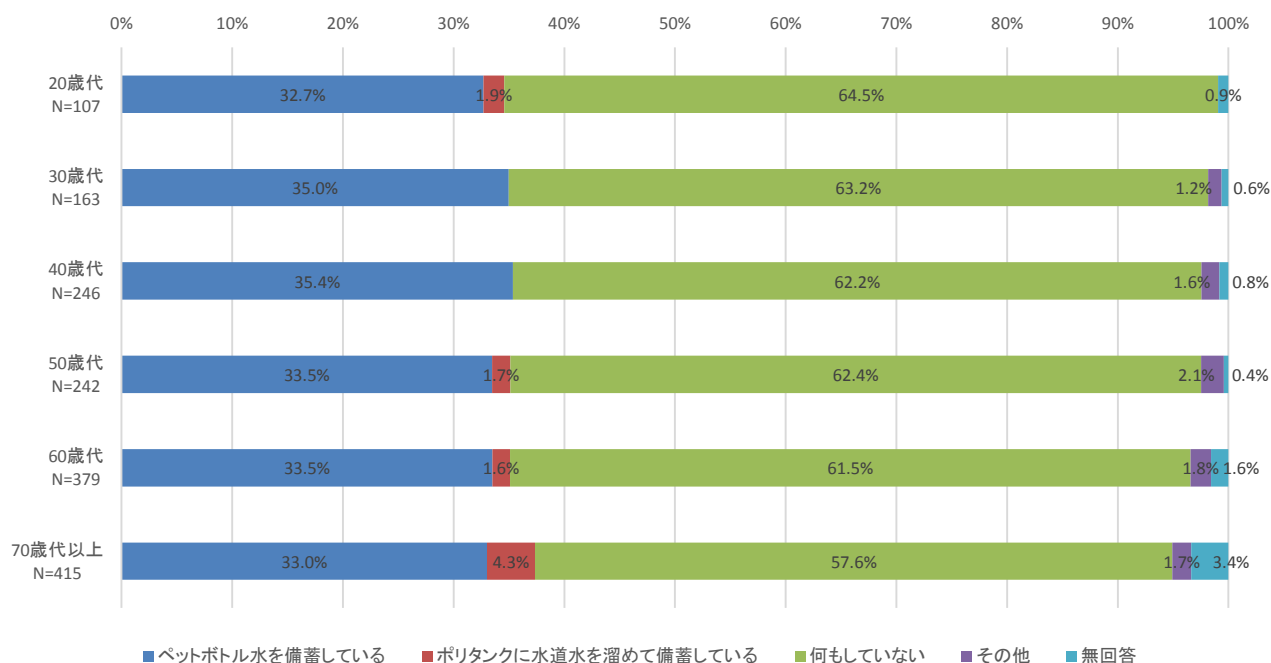
## ② 属性別集計

### 【性別】



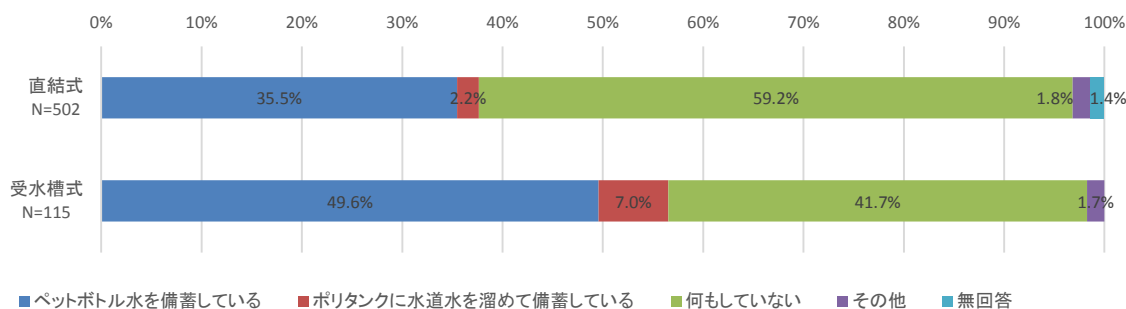
性別では、「ペットボトル水を備蓄している」「ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している」をあわせた備蓄している人の割合は男性より女性の方が高くなっています。

### 【年齢別】



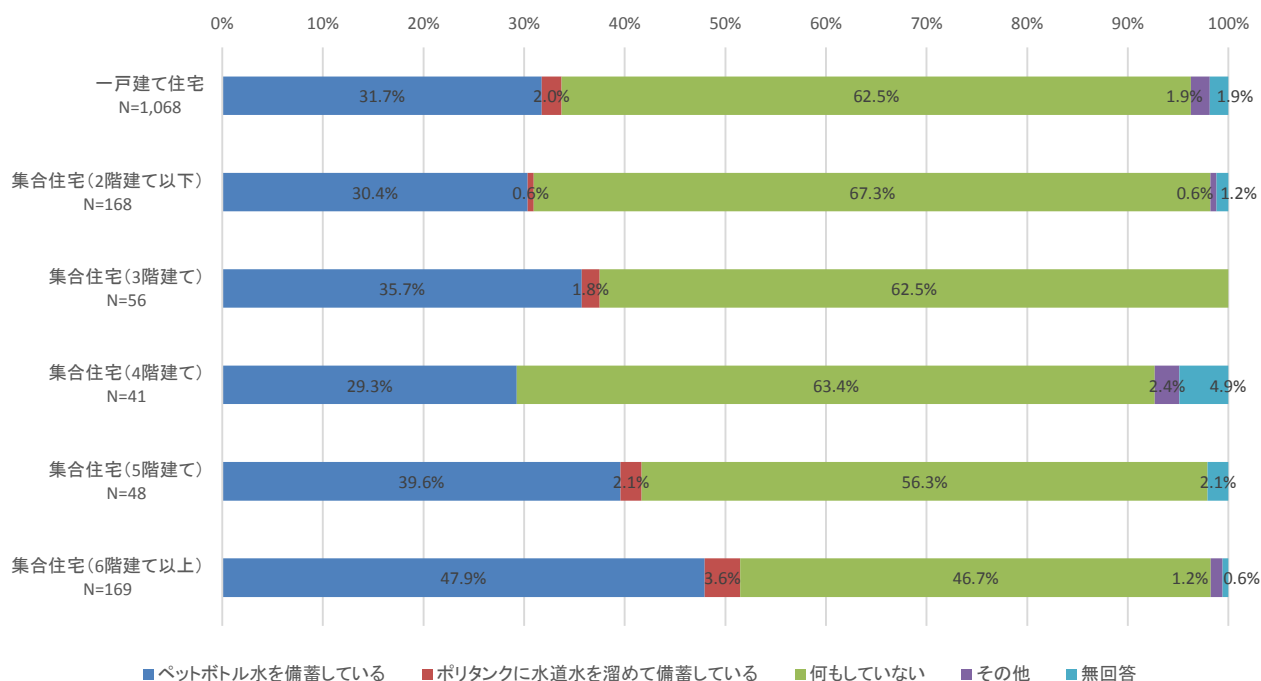
年齢別では、いずれの年齢層においても「何もしていない」が過半数を占めており、類似した傾向となっています。

## 【給水方式別】



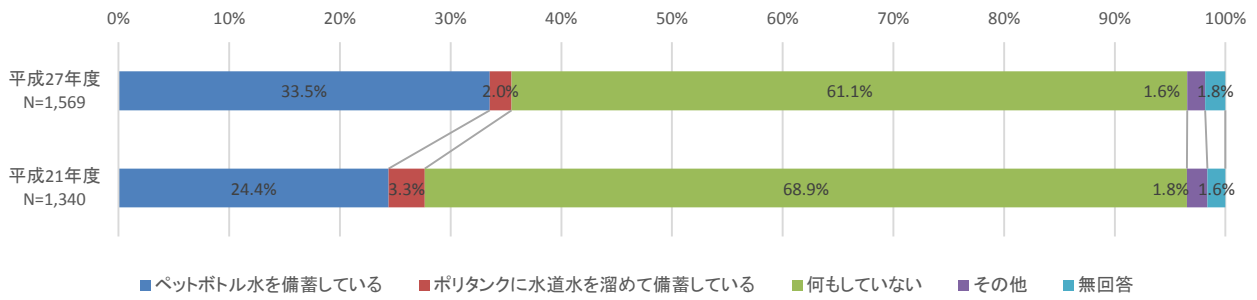
給水方式別では、「ペットボトル水を備蓄している」「ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している」をあわせた備蓄している人の割合は受水槽式が56.6%で直結式の37.7%と比べると高くなっています。

## 【住居別】



住居別では、「ペットボトル水を備蓄している」「ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している」をあわせた備蓄している人の割合は、概ね高層になるにつれて高くなる傾向がみられます。

### ③ 経年比較

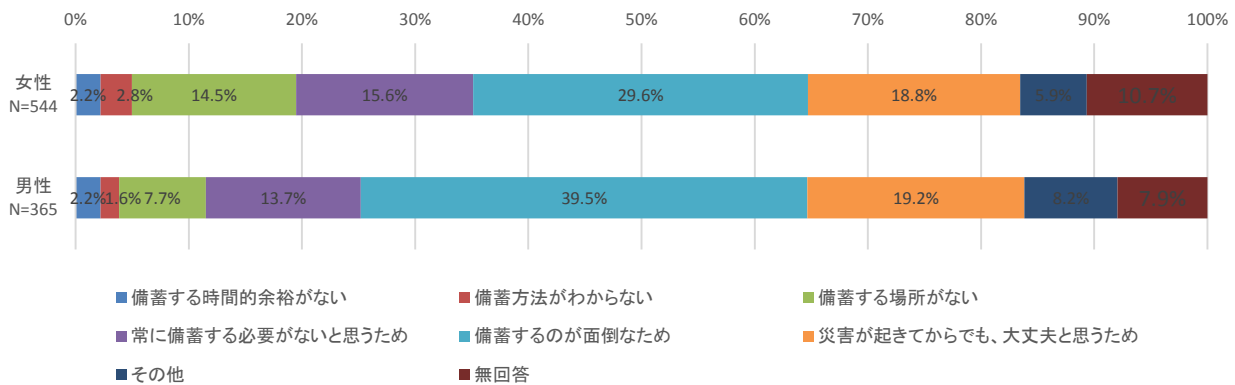


前回（平成21年度）調査との比較では、「ペットボトル水を備蓄している」「ポリタンクに水道水を溜めて備蓄している」をあわせた備蓄している人の割合は増加しており、今回調査では35.5%となっています。



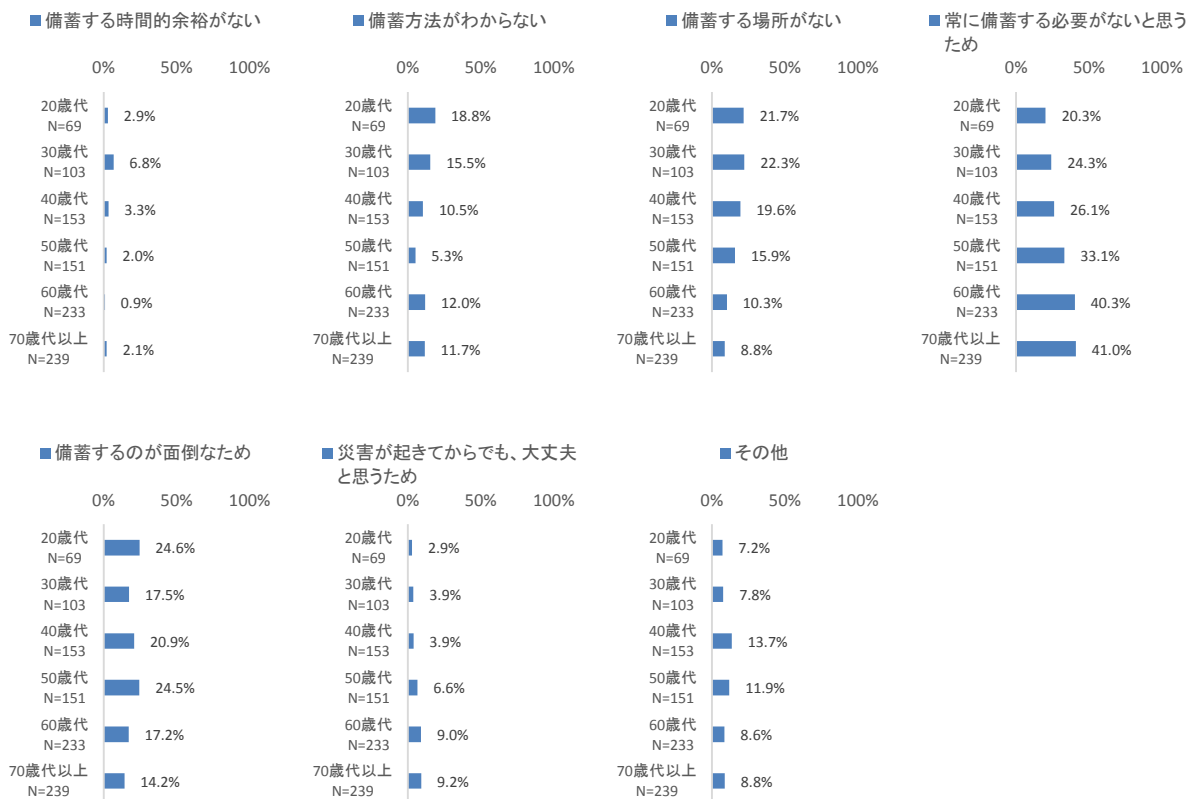
## ② 属性別集計

### 【性別】



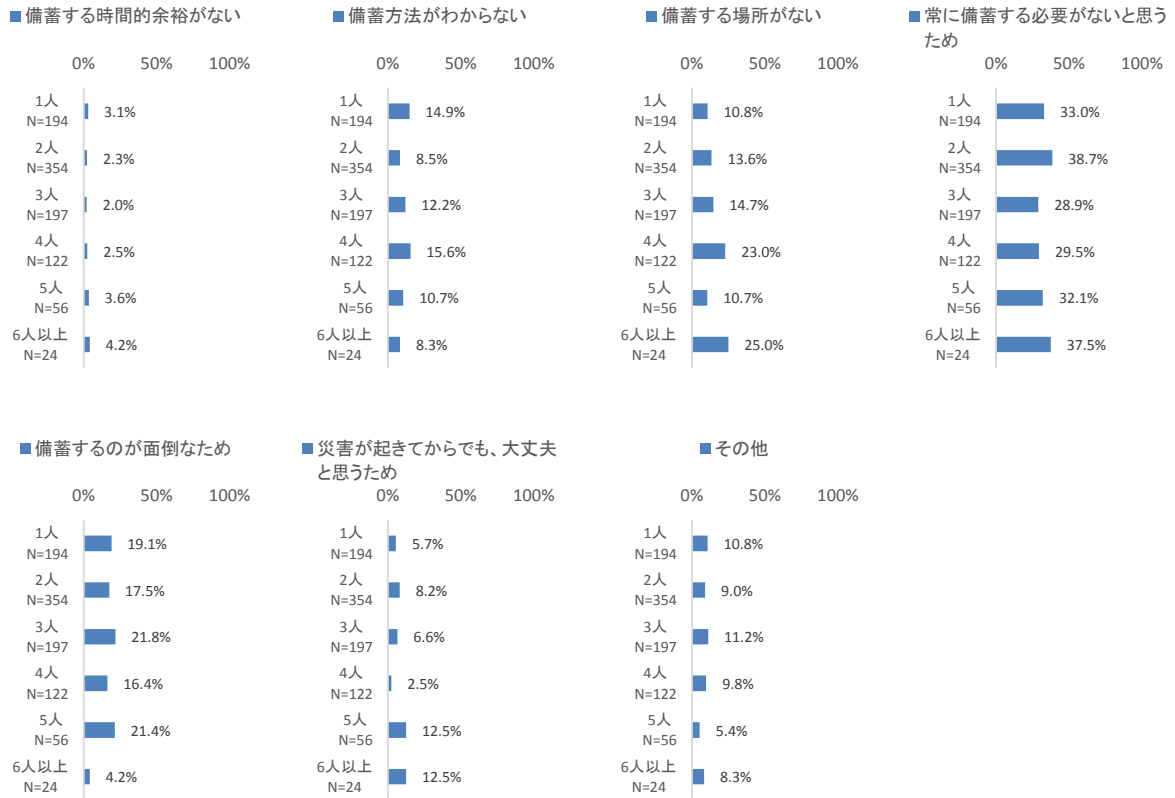
性別では、「備蓄する場所がない」については女性が14.5%で、男性の7.7%より高くなっています。また、「備蓄するのが面倒なため」については男性が39.5%で、女性の29.6%に比べて高くなっています。

### 【年齢別】



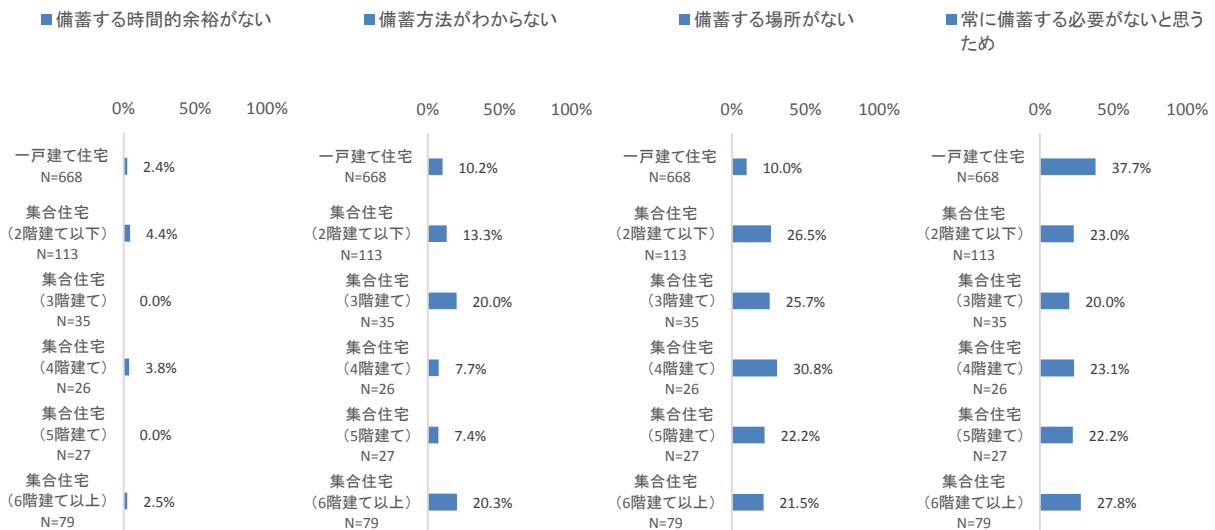
年齢別では、「備蓄方法がわからない」「備蓄する場所がない」を選択する割合は概ね年齢が下がるにつれて高くなっています。また、「常に備蓄する必要がないと思うため」を選択する割合は年齢層が上がるにつれて高くなっています。

## 【家族数別】

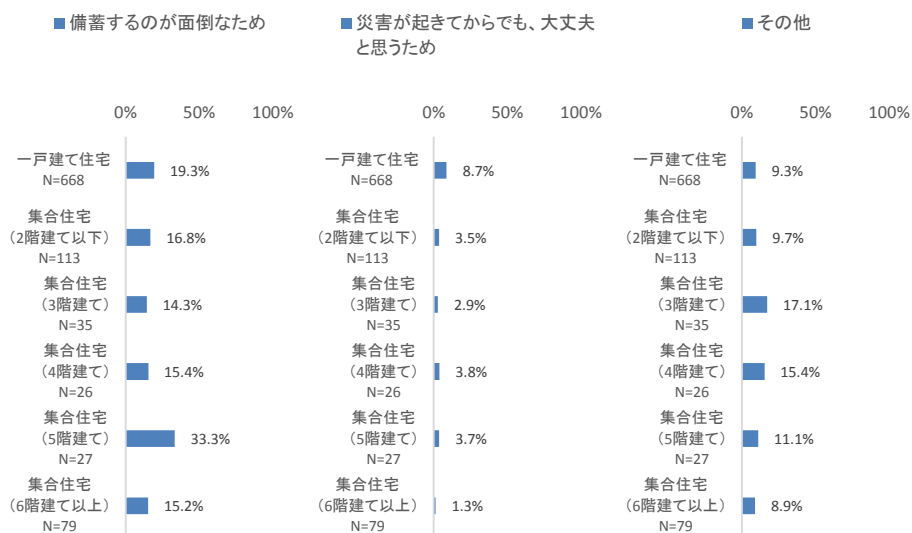


家族数別では、家族人数にかかわらず「常に備蓄する必要がないと思うため」が選択される割合が高くなっています。

## 【住居別】







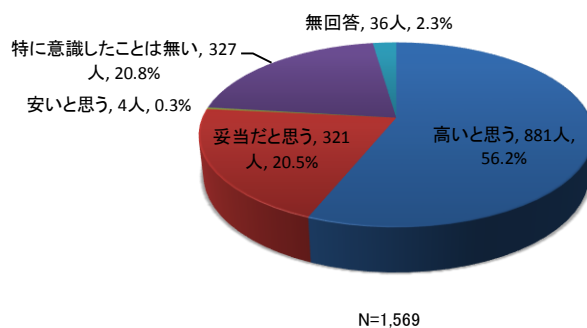
住居別では、一戸建て、集合住宅ともに「常に備蓄する必要がないと思うため」「備蓄するのが面倒なため」を選択する割合が高くなっています。集合住宅においては「備蓄する場所がない」を選択する割合が一戸建てに比べて高くなっています。

## (6) 水道料金制度について

問15 水道料金は、二ヶ月分の料金を請求しています。(下水道を使用されている場合は、下水道使用料と同時徴収しています。)あなたは、水道料金についてどのように感じていますか？(〇は1つだけ)

1. 高いと思う
2. 安いと思う
3. 妥当だと思う
4. 特に意識したことは無い

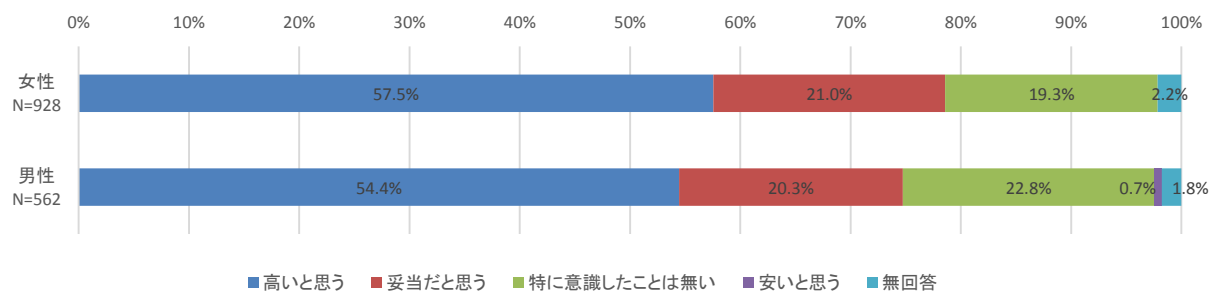
### ① 単純集計



水道料金については、「高いと思う」が56.2%で最も高くなっており、次いで「妥当だと思う」20.7%、「特に意識したことがない」20.6%の順になっています。

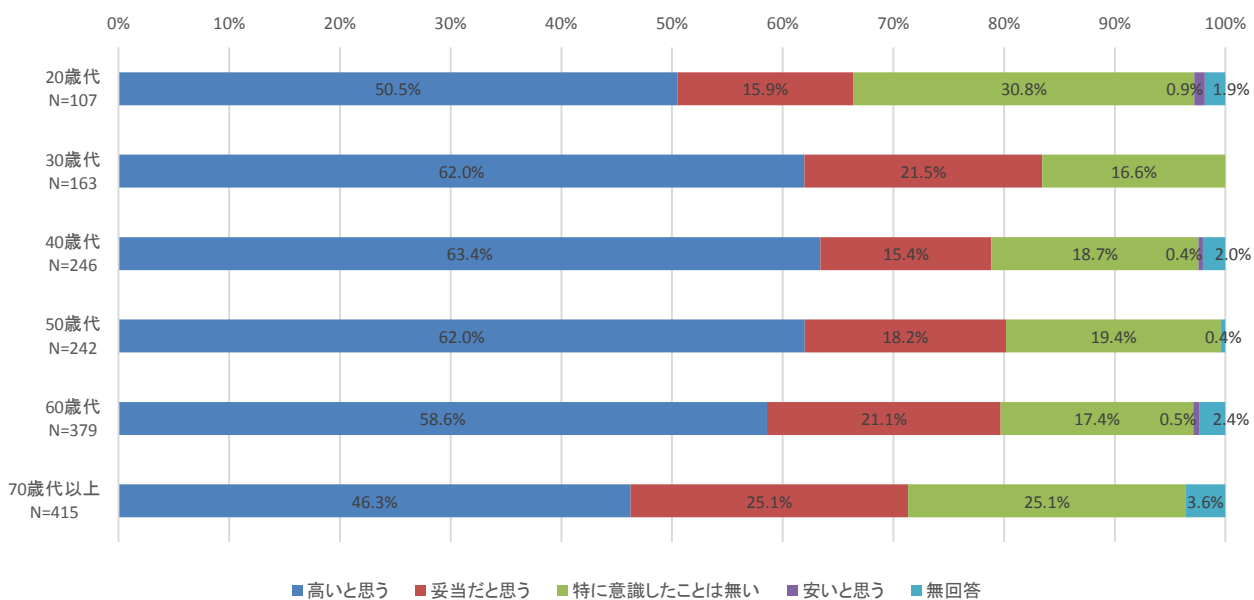
## ② 属性別集計

### 【性別】



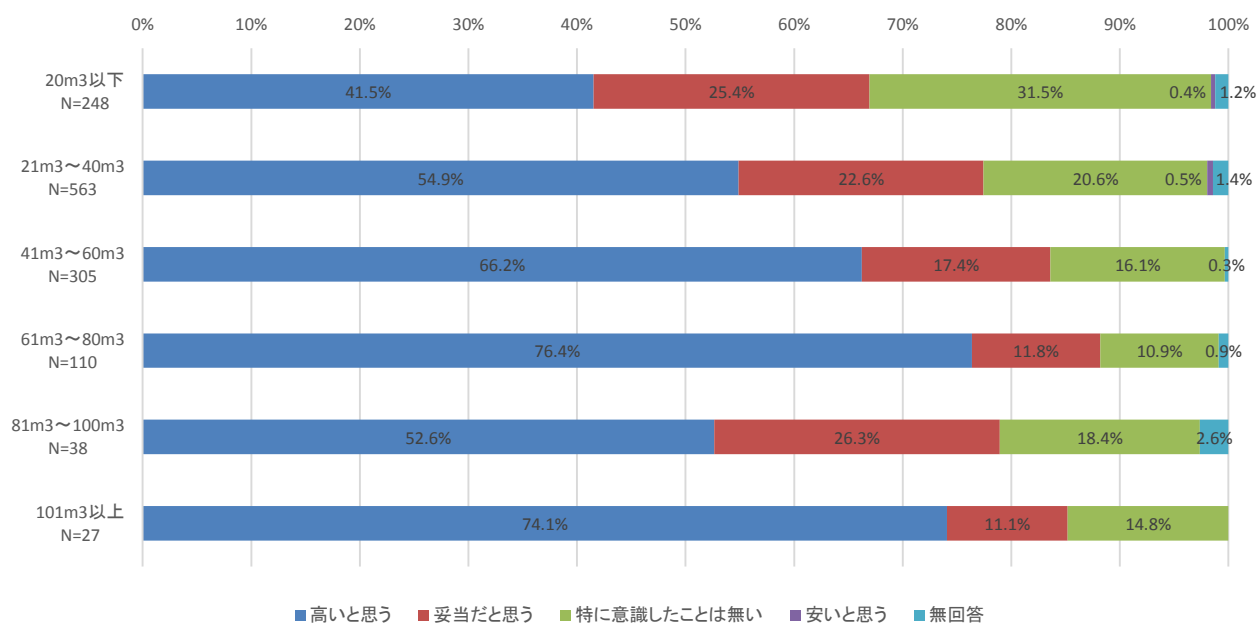
性別では、男女ともに「高いと思う」割合は過半数を占めています。

### 【年齢別】



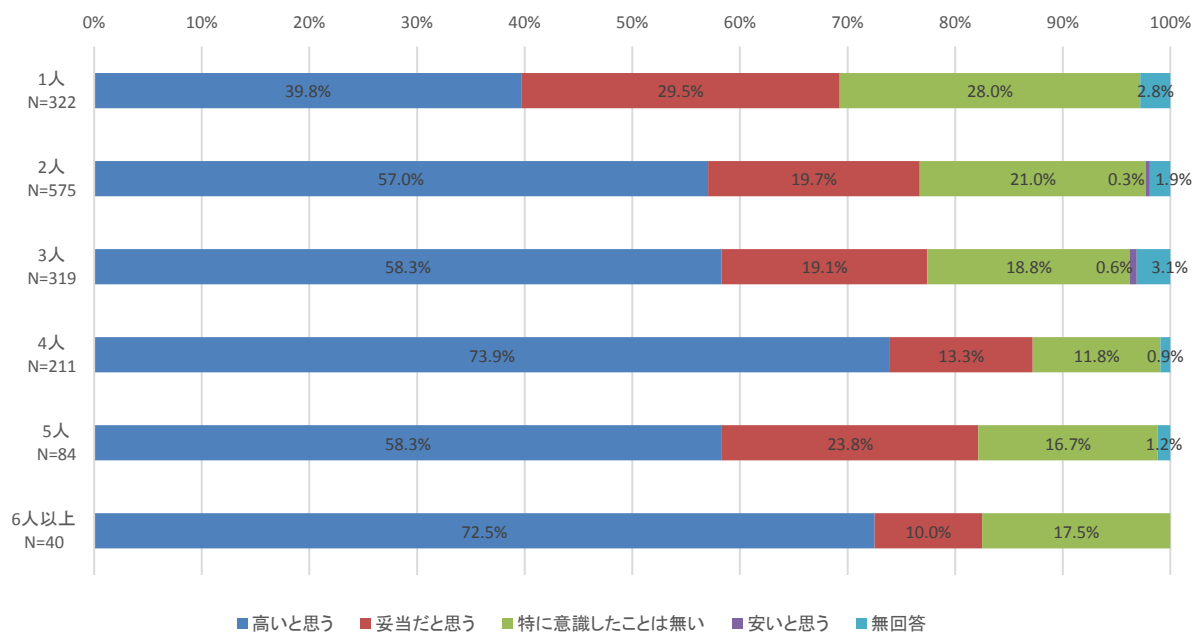
年齢別では、「高いと思う」割合は40歳代が63.4%で最も高くなっています。一方で「妥当だと思う」の割合は70歳代以上で25.1%と最も高くなっています。

## 【使用水量別】



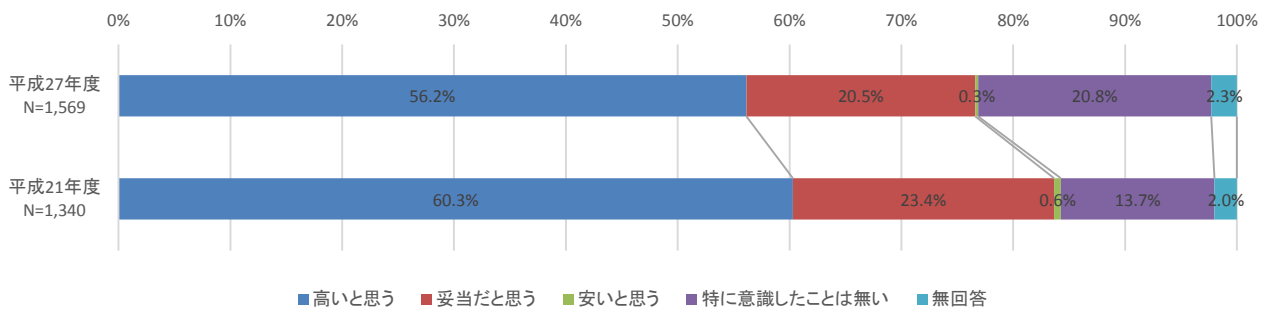
使用水量別では、「高いと思う」割合は、概ね使用水量が多い方が高くなる傾向がみられます。

## 【家族数別】



家族数別では、「高いと思う」割合は、概ね家族人数が多い方が高くなる傾向がみられます。

### ③ 経年比較

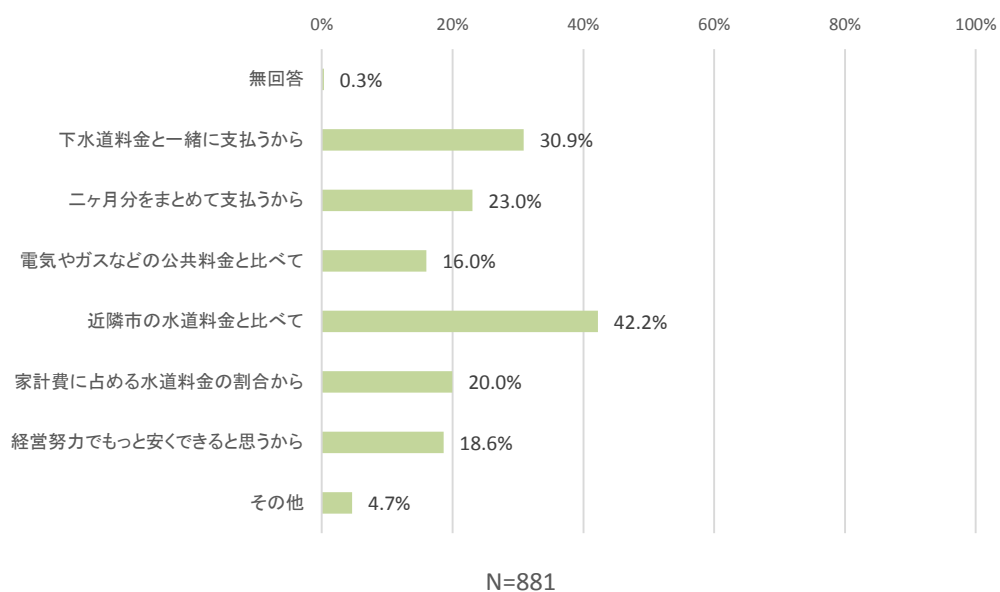


前回（平成21年度）調査との比較では、「特に意識したことがない」の割合が増加しており、「高いと思う」「妥当だと思う」の割合は減少している。

問16 問15で「1」とお答えになった方にお伺いします。水道料金が高いと思う大きい理由は何ですか？  
(〇は2つまで)

1. 下水道料金と一緒に支払うから
2. ニヶ月分をまとめて支払うから
3. 電気やガスなど他の公共料金と比べて
4. 近隣市の水道料金と比べて
5. 家計費に占める水道料金の割合から
6. 経営努力でもっと安くできると思うから
7. その他 ( )

### ① 単純集計



水道料金が高いと思う理由として、「近隣市の水道料金と比べて」42.2%、「下水道料金と一緒に支払うから」30.9%、「ニヶ月分をまとめて支払うから」23.0%の順に高くなっている。

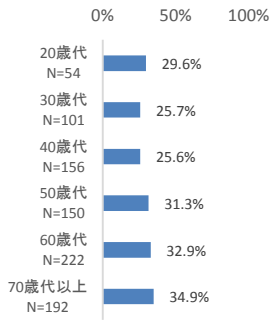
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 使用量をとっても少なくしていてもその割に上下水道の基本料が高いから。

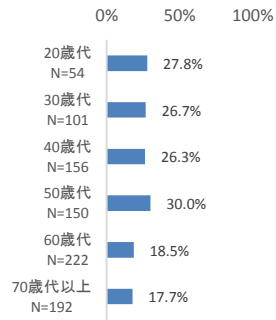
## ② 属性別集計

### 【年齢別】

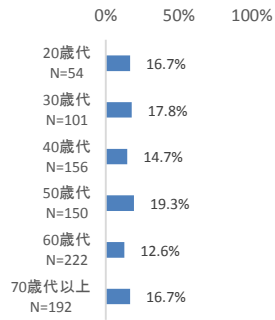
■ 下水道料金と一緒に支払うから



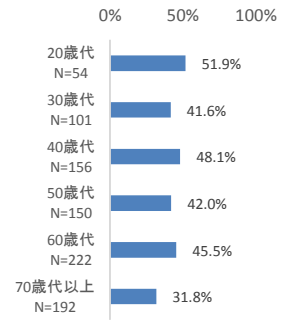
■ ニヶ月分をまとめて支払うから



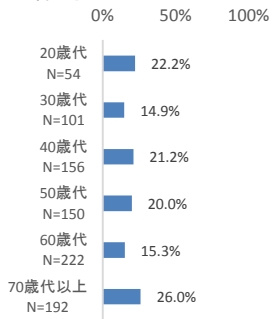
■ 電気やガスなどの公共料金と比べて



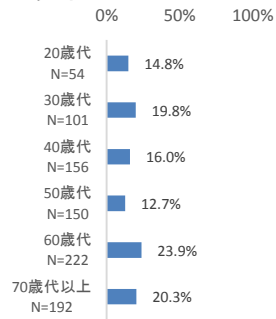
■ 近隣市の水道料金と比べて



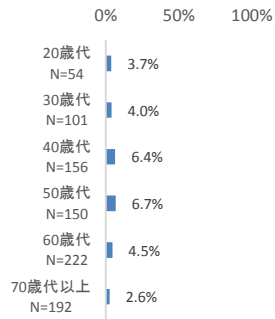
■ 家計費に占める水道料金の割合から



■ 経営努力でもっと安くできると思うから



■ その他

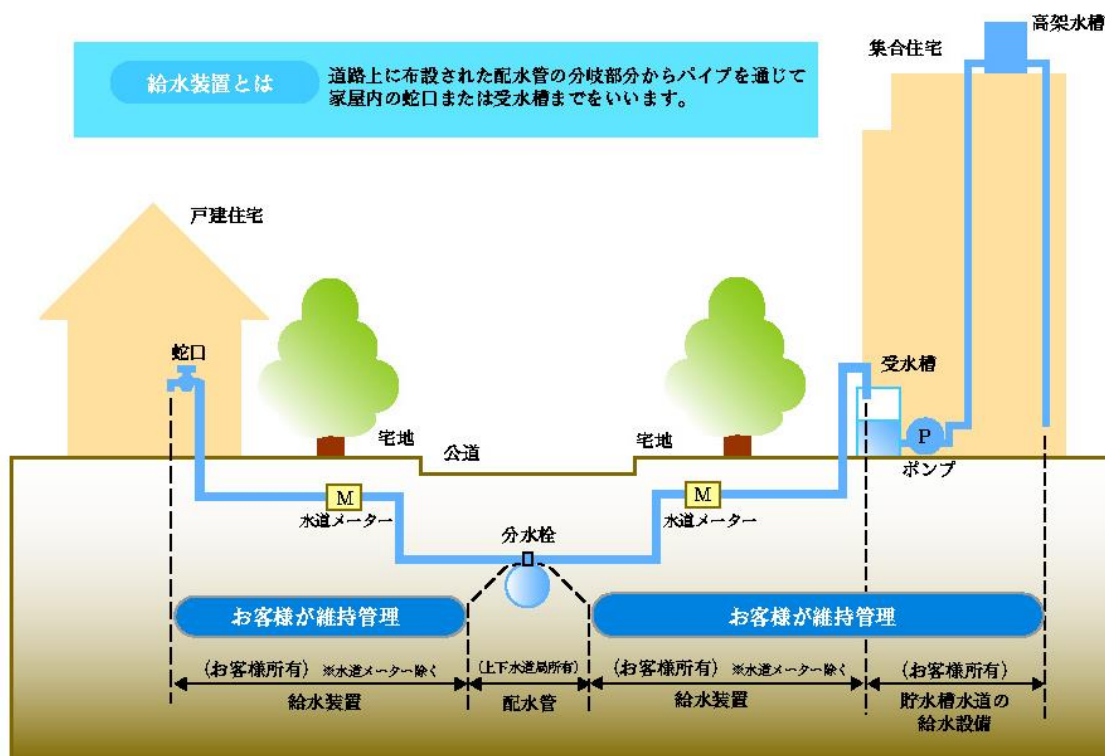


年齢別では、70歳代以上で「下水道料金と一緒に支払うから」を選択される割合が高くなっています。60歳代以下では「近隣市の水道料金と比べて」を選択される割合が高く、「ニヶ月分をまとめて支払うから」は若い世代で選択される傾向がみられます。

## (7) 給水装置について

問17 道路上の配水管から分かれて、各家庭に水を配る水道管を給水管と呼びます。この給水管と水道メーター、蛇口などの給水用具をまとめて給水装置といいます。あなたは、宅地内の給水装置の維持管理について次のことをご存知でしたか？（○は①から⑤までそれぞれ1つ）

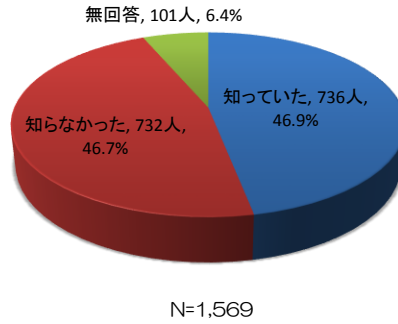
〈水道管イメージ図〉





1. 水道メーターを除く給水装置はお客様の財産であり、維持管理は、お客様の責任で行っていただきます。

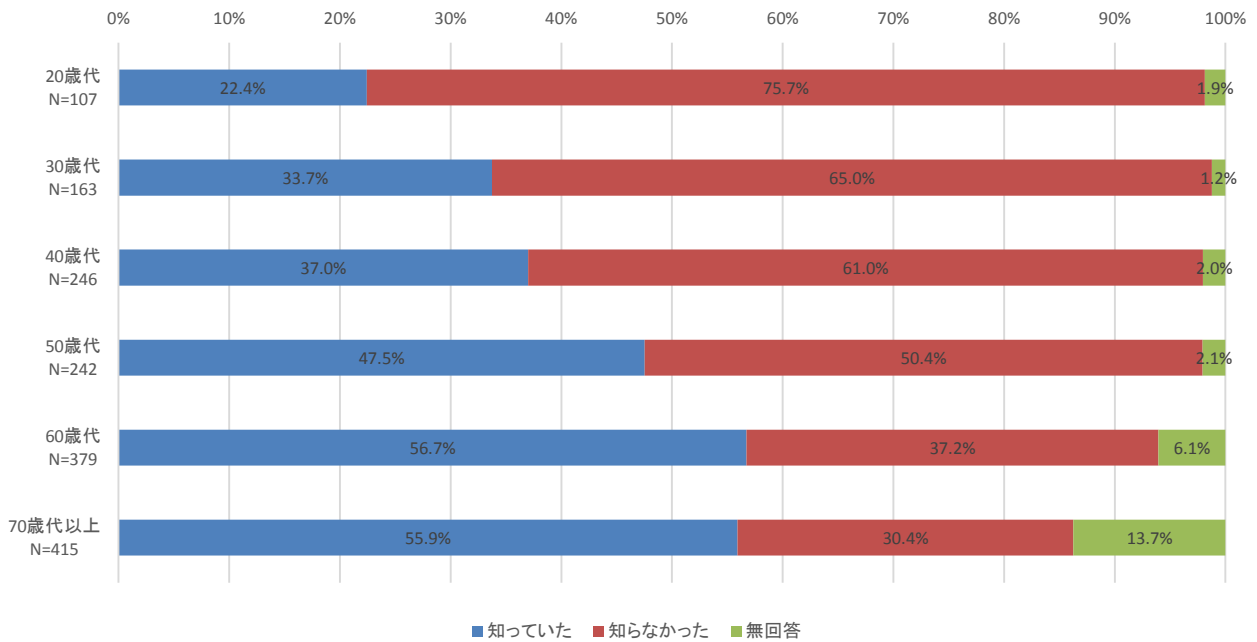
① 単純集計



「知っていた」の割合は46.9%、「知らなかった」の割合は46.7%となっています。

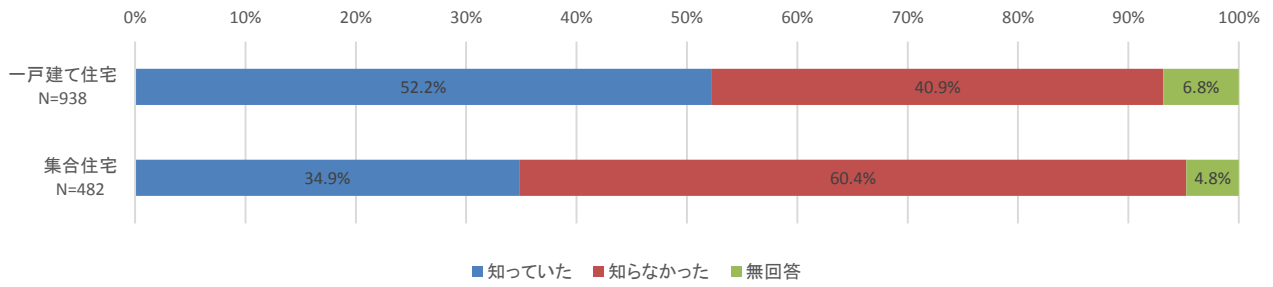
② 属性別集計

【年齢別】



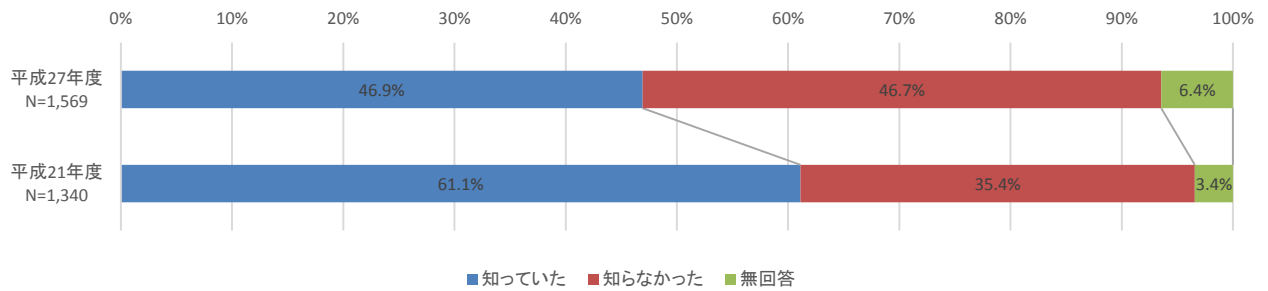
年齢別では、「知っていた」の割合は、概ね高齢になるほど選択される割合が高くなる傾向がみられます。一方で、「知らなかった」の割合は年齢層が下がるほど高くなる傾向がみられます。

## 【住居別】



住居別では、「知っている」の割合は、一戸建て住宅が52.2%で集合住宅と比べて高くなっています。

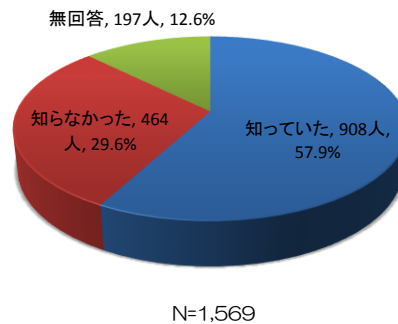
## ③ 経年比較



前回（平成21年度）調査との比較では、「知らなかった」の割合が増加しており、「知っている」の割合は減少しています。

2. ビルやマンションなどの水道水をいったん受水槽などに貯水する給水設備の管理は、建物の管理者で行っていただきます。

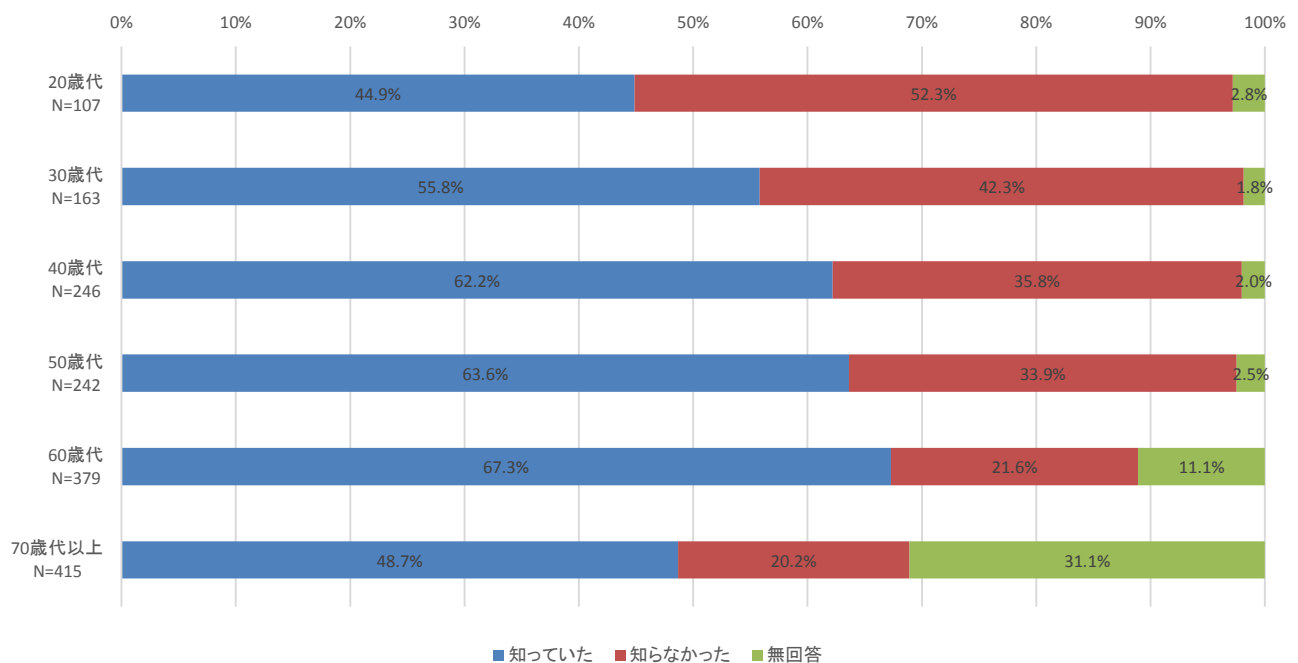
① 単純集計



「知っていた」の割合は57.9%、「知らなかった」の割合は29.6%となっています。

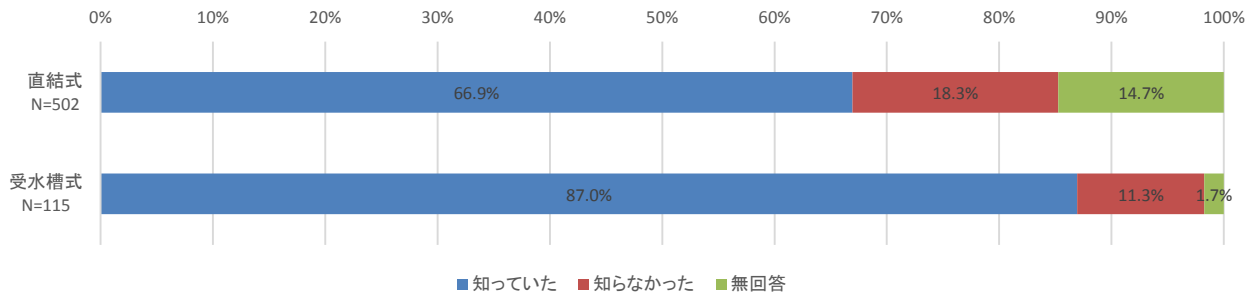
② 属性別集計

【年齢別】



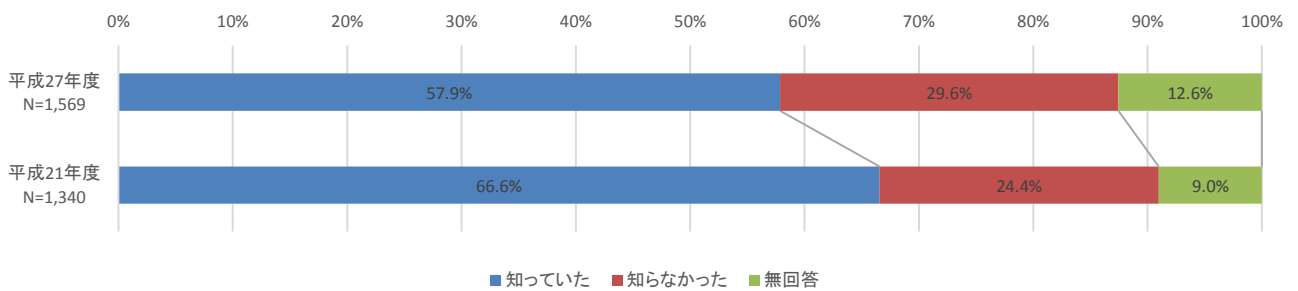
年齢別では、「知っていた」の割合は70歳代以上を除いて、概ね高齢になるにつれて選択される割合が高くなっています。一方で、「知らなかった」の割合は年齢層が下がるほど高くなる傾向がみられません。

### 【給水方式別】



給水方式別では、受水槽式において「知っていた」の割合は87.0%で最も高くなっています。

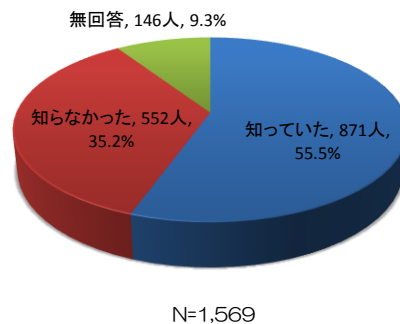
### ③ 経年比較



前回（平成21年度）調査との比較では、「知らなかった」の割合が増加しており、「知っていた」の割合は減少しています。

3. 給水装置の新設、改造、修繕などの工事は、軽微なものを除き市の指定給水装置工事事業者でなければ施工できません。

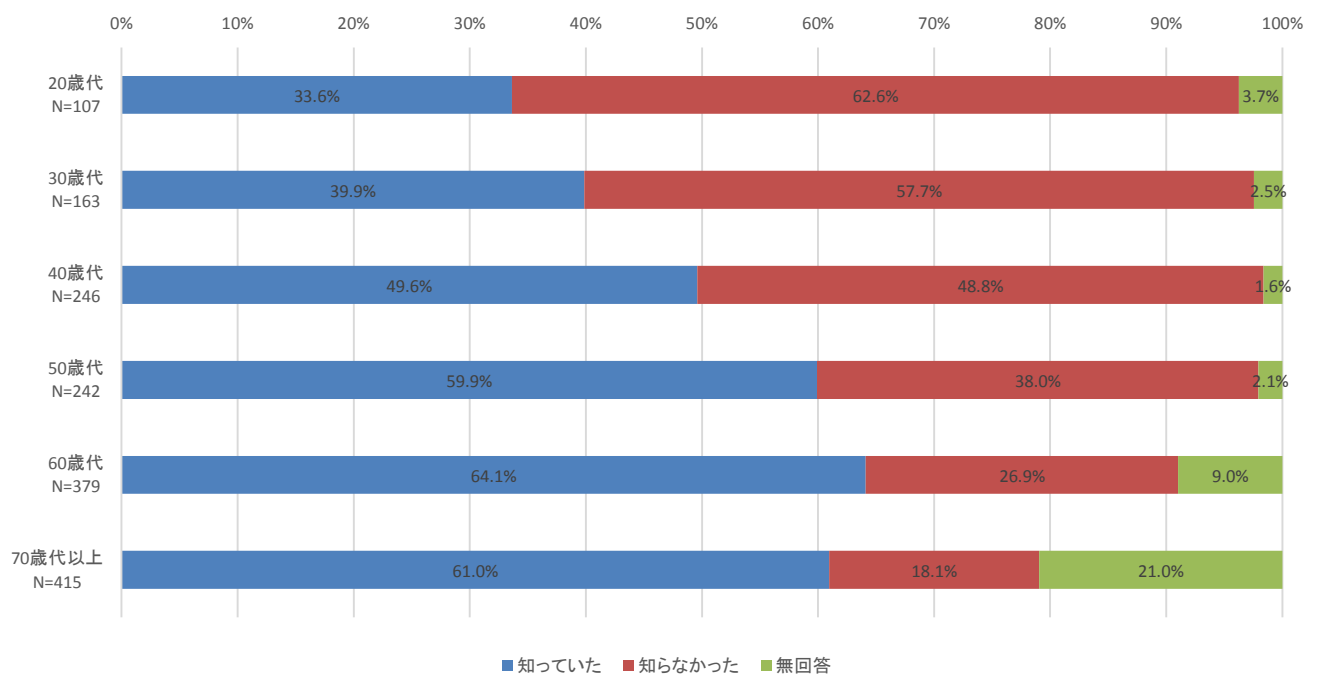
① 単純集計



「知っていた」の割合は55.5%、「知らなかった」の割合は35.2%となっています。

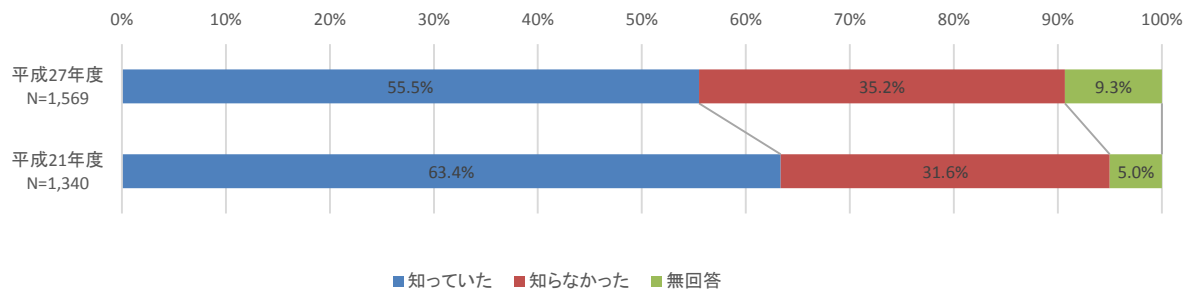
② 属性別集計

【年齢別】



年齢別では、「知っていた」の割合は70歳代以上を除いて、概ね高齢になるにつれて選択される割合が高くなっています。一方で、「知らなかった」の割合は年齢層が下がるほど高くなる傾向がみられません。

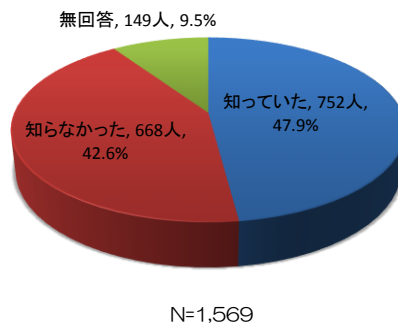
### ③ 経年比較



前回（平成21年度）調査との比較では、「知っていた」の割合は減少しています。

4. 給水装置の新設、改造などの工事を行うときは、周南市上下水道局へ申請していただき承認が必要となります。

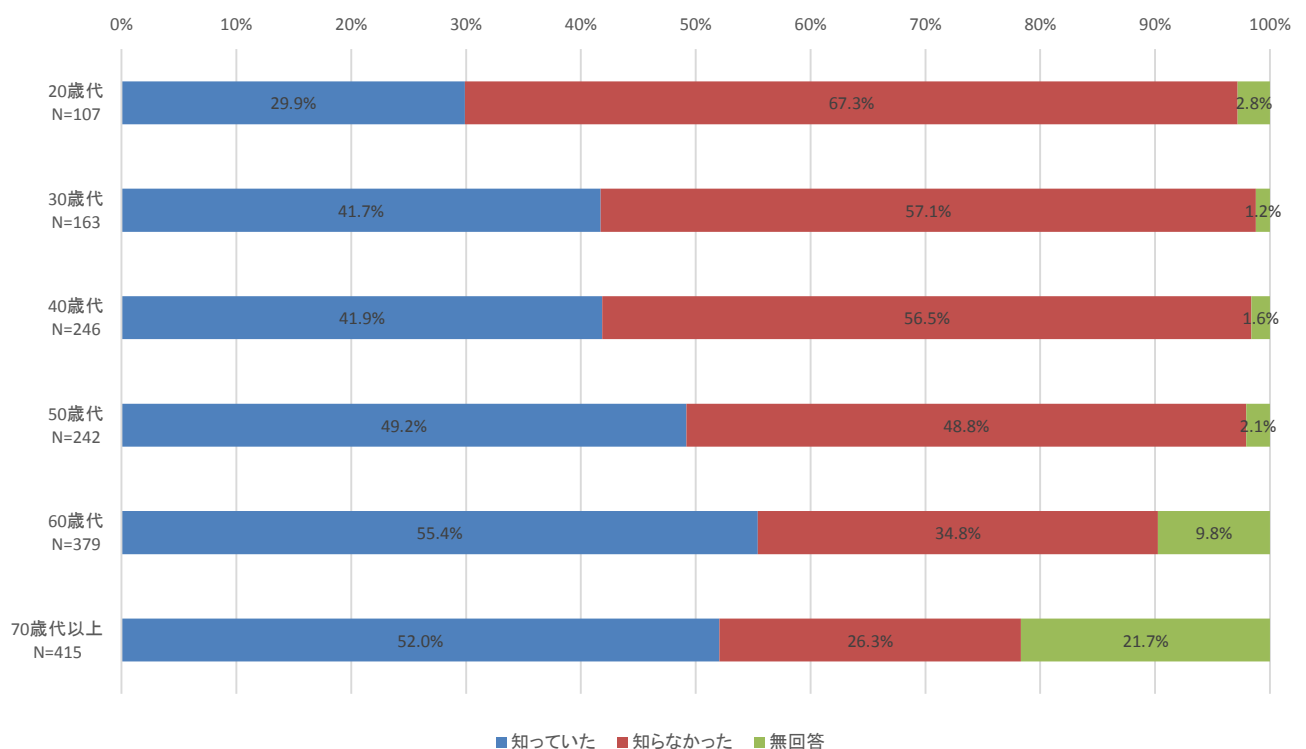
① 単純集計



「知っていた」の割合は47.9%、「知らなかった」の割合は42.6%となっています。

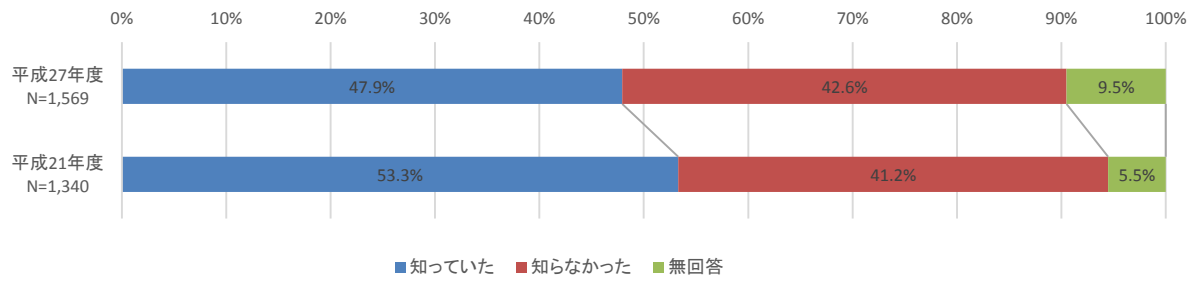
② 属性別集計

【年齢別】



年齢別では、「知っていた」の割合は70歳代以上を除いて、概ね高齢になるにつれて選択される割合が高くなっています。一方で、「知らなかった」の割合は年齢層が下がるほど高くなる傾向がみられます。

### ③ 経年比較

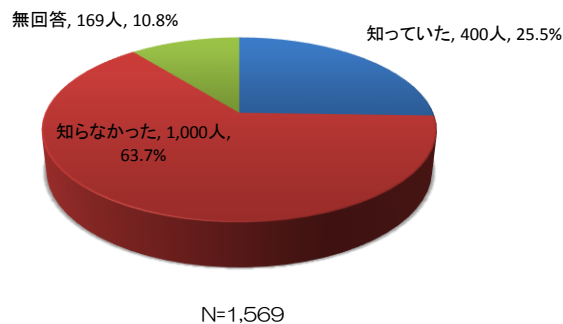


前回（平成21年度）調査との比較では、「知っていた」の割合は減少しています。



5. 水道と井戸を一緒に使用される場合は、お互いの管をつなぐと汚染された水が水道管を逆流する恐れがありますので切り替えバルブを設置しても違法となります。

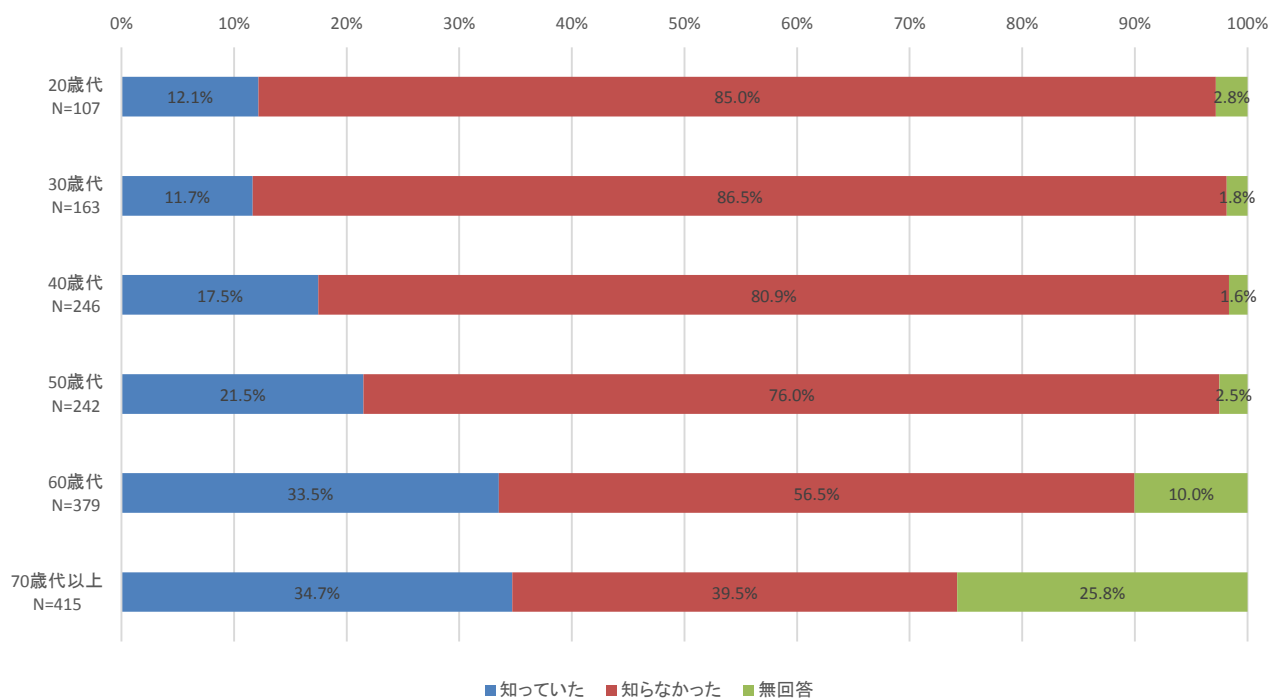
① 単純集計



「知らなかった」の割合は63.7%で過半数を占めています。

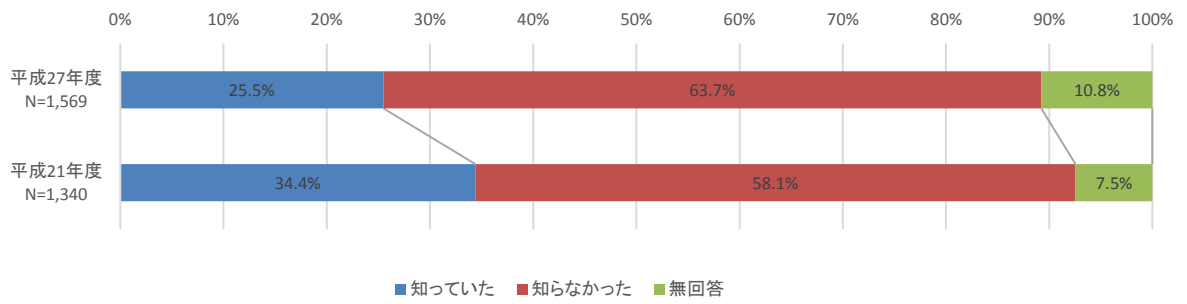
② 属性別集計

【年齢別】



年齢別では、「知っていた」の割合は高齢になるほど選択される割合が高くなり、70歳代以上で34.7%となっています。一方で、「知らなかった」の割合は年齢層が下がるほど高くなる傾向がみられます。

### ③ 経年比較



前回（平成21年度）調査との比較では、「知らなかった」の割合が増加しており、「知っていた」の割合は減少しています。

## (8) 水道施設の更新や耐震化について

周南市上下水道局では主要となる水道施設の整備を昭和 40～50年頃に行っているため、現在では40年程度経過した老朽化施設が増えてきており、計画的な施設の更新が求められています。

また、近年は大規模地震の発生に対する水道施設の耐震性が危惧されており、災害対策の面からも適正な施設整備の必要性が高まっています。

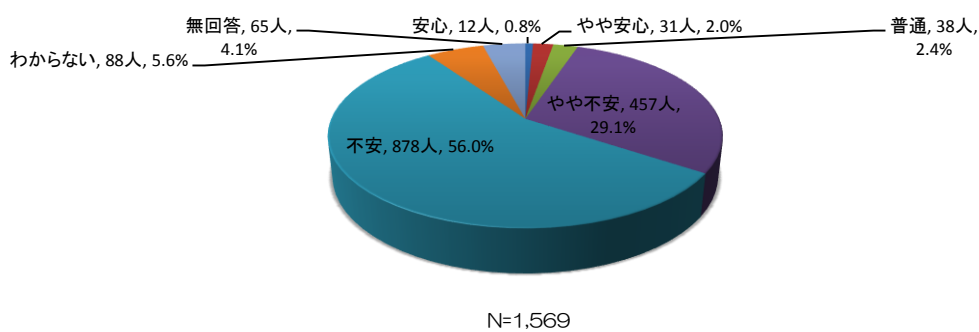
現在、安定した給水体制を確保するため老朽化した施設の更新や古くなった水道管を取り替える際には、同じ性能の水道管ではなく、すべて地震に強い管に取り替える水道管の耐震化を進めています。計画では、市内の水道管約671kmを年間約10kmのペースで耐震化していき、平成26年度末に約16%だった地震に強い管の割合を平成27年度末までに約18%とする予定です。

このような取組について問18、問19の質問にお答えください。

問18 昭和 40～50年頃に整備された水道施設の老朽化や地震に対して十分な対策がされていない水道施設があることについて、どう思いますか？（〇は1つだけ）

1. 安心
2. やや安心
3. 普通
4. やや不安
5. 不安
6. わからない

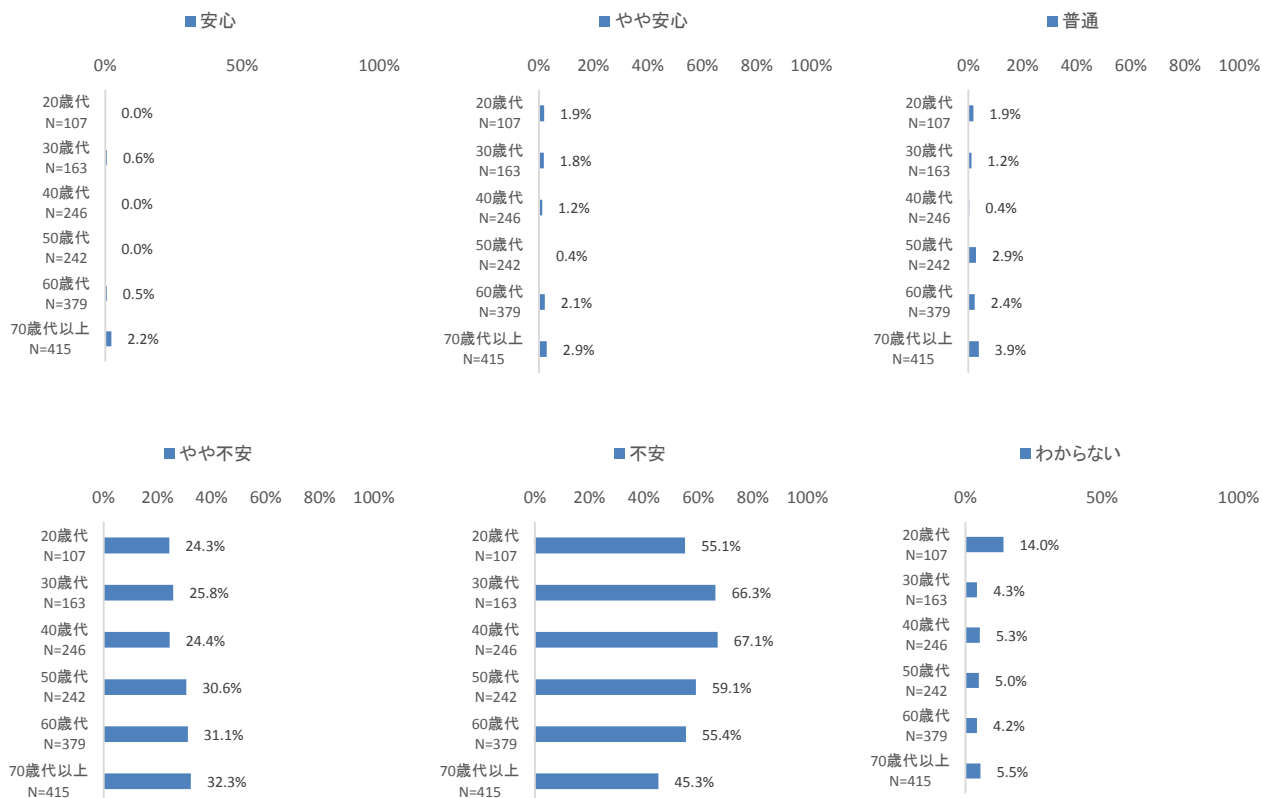
### ① 単純集計



水道施設の老朽化や耐震化されていない水道施設があることについて、「不安」が56.0%と最も高くなっています。これに「やや不安」の29.1%をあわせた85.1%の方が不安に感じておられます。

## ② 属性別集計

### 【年齢別】

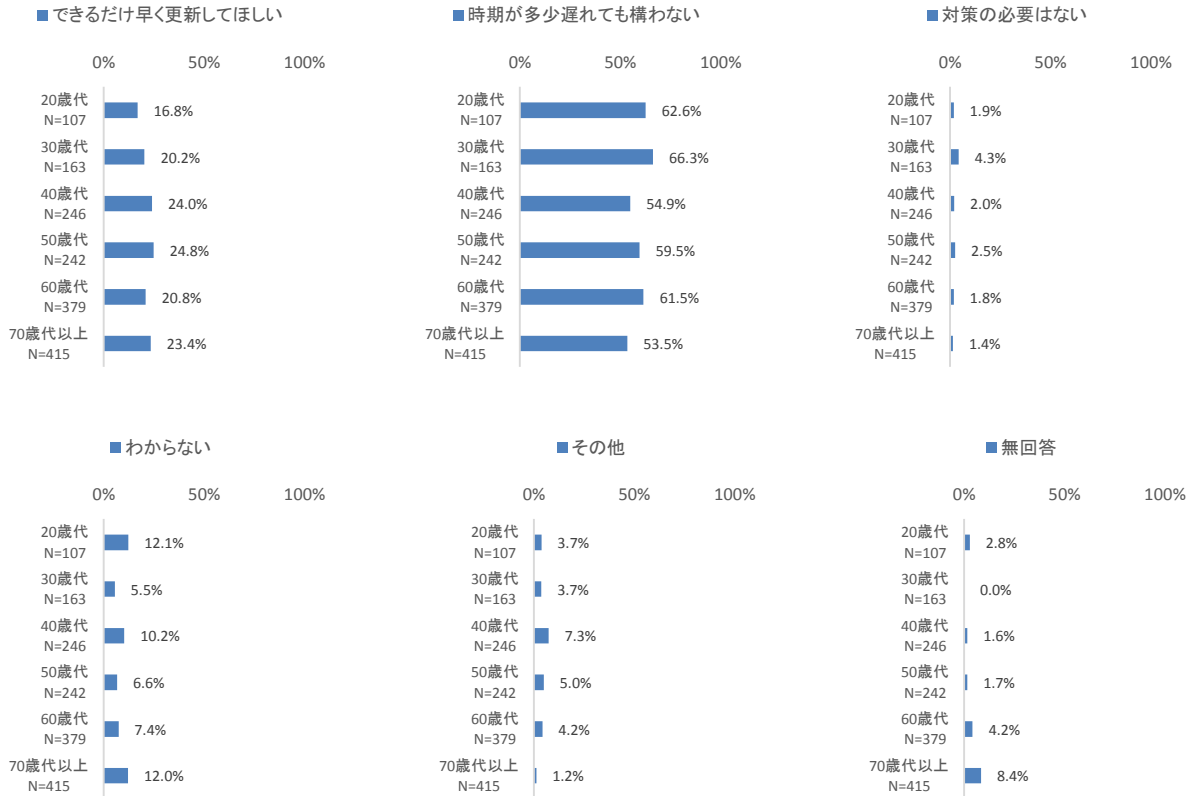


年齢別では、いずれの年齢層でも「やや不安」「不安」が選択される割合が高くなっています。また、年齢層が上がるにつれて「安心」「やや安心」「普通」などを選択する割合が高くなっています。



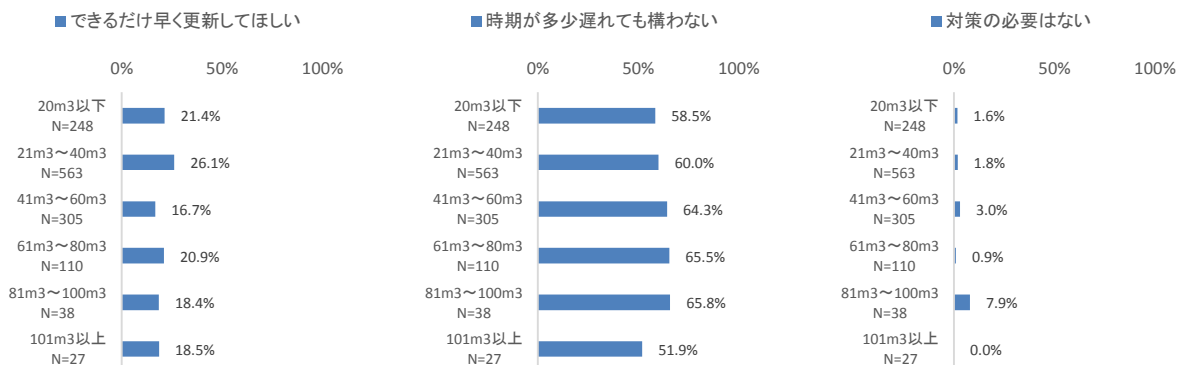
## ② 属性別集計

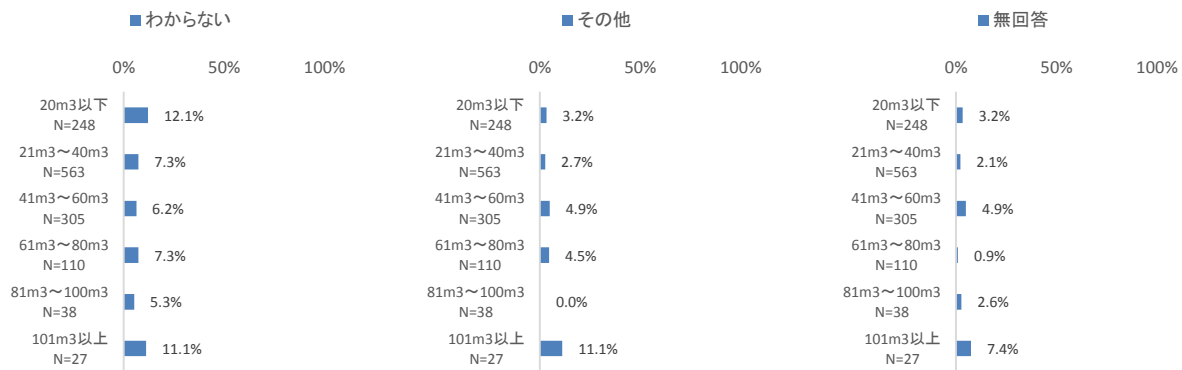
### 【年齢別】



年齢別では、いずれの年齢層でも「更新はするべきではあるが、最低限の安定給水体制を確保したうえで、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期が多少遅れても構わない」の選択率が高く、年齢にかかわらず類似した傾向になっています。「水道料金の負担が多少増えても、万全な安定給水体制を確保するために、できるだけ早く更新してほしい」については、50歳代で24.8%と最も高くなっています。

### 【使用水量別】

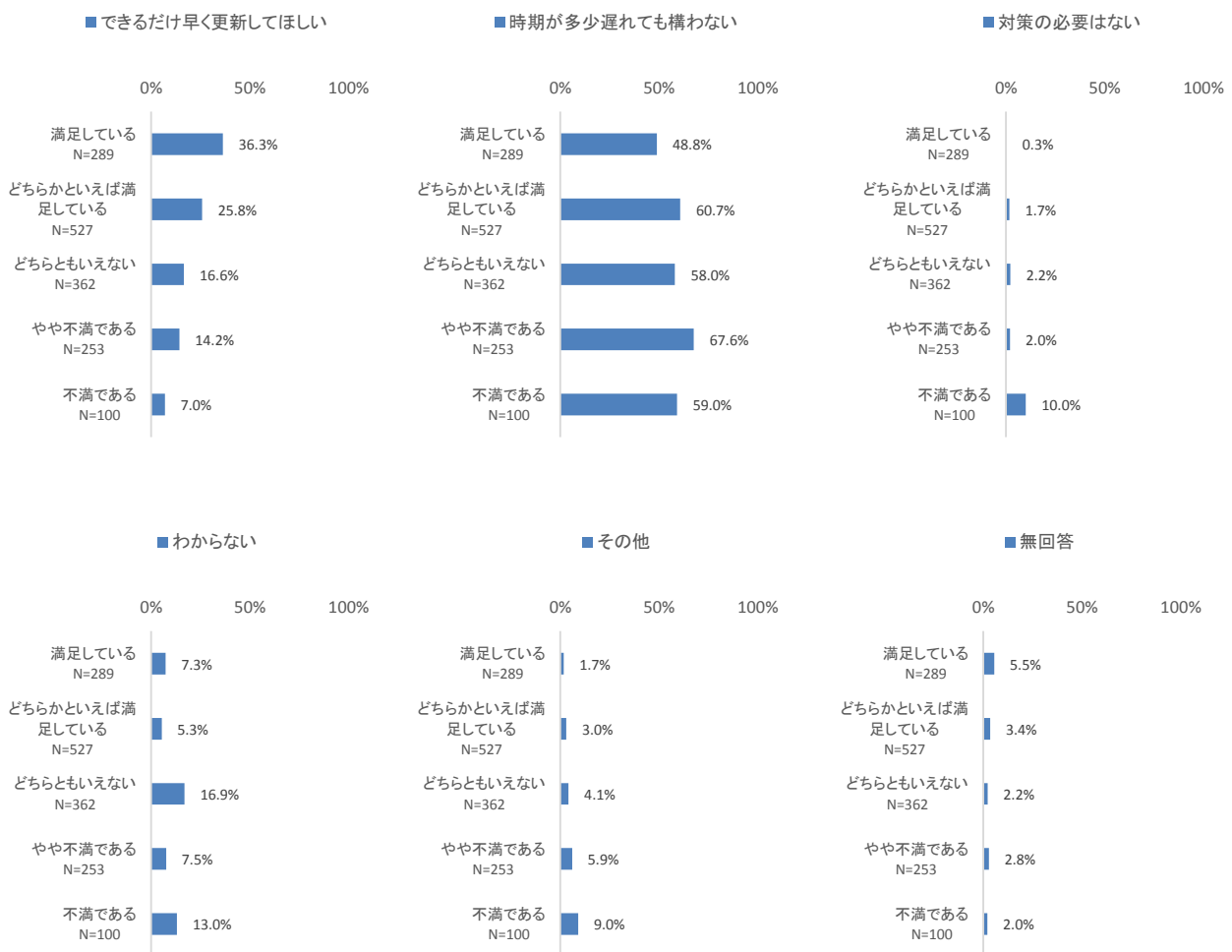




使用水量別では、使用水量にかかわらず「更新はするべきではあるが、最低限の安定給水体制を確保したうえで、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期が多少遅れても構わない」の選択率が高く、類似した傾向になっています。「水道料金の負担が多少増えても、万全な安定給水体制を確保するために、できるだけ早く更新してほしい」については、概ね使用水量が増えるほど選択率が低くなる傾向がみられます。

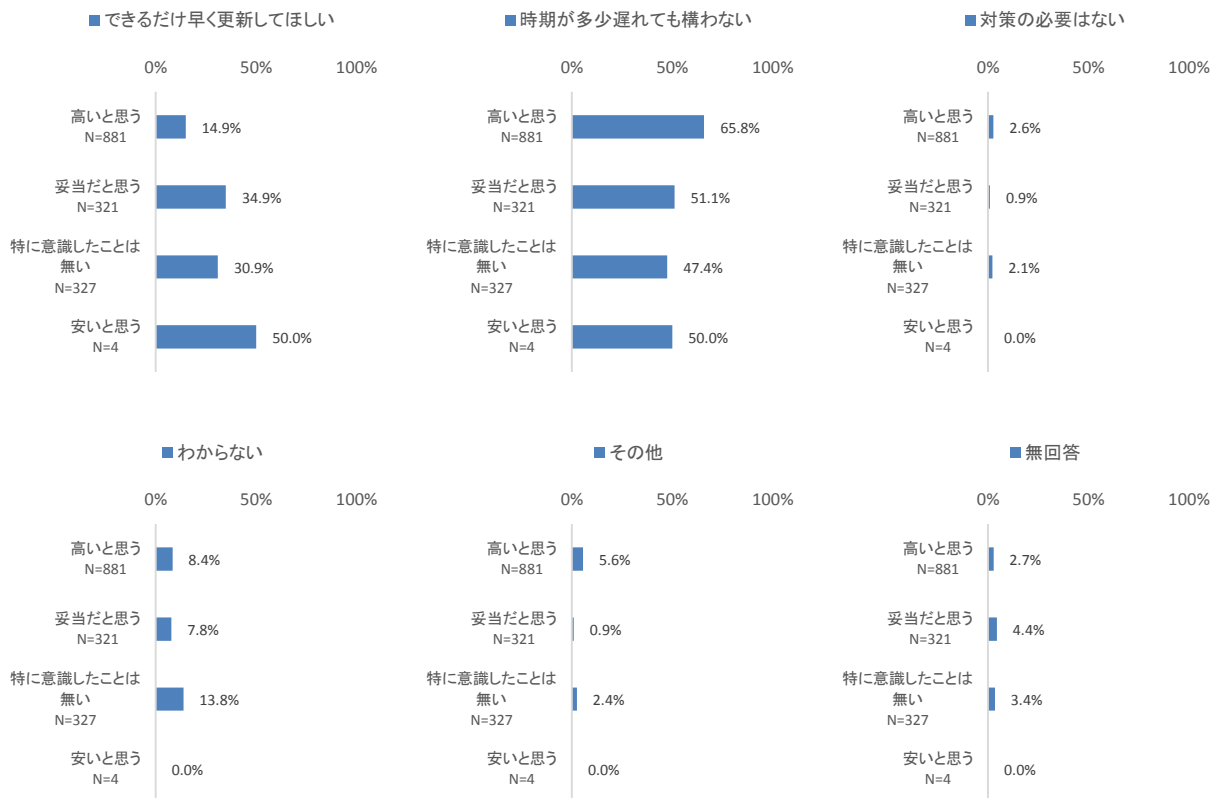
### ③ その他の集計

#### 【水道事業に対する満足度による違い】



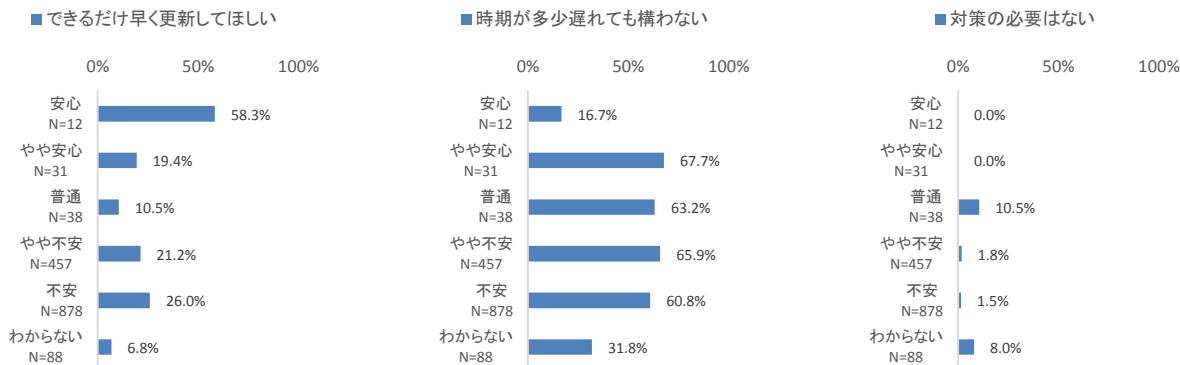
水道事業に対する満足度にかかわらず「更新はするべきではあるが、最低限の安定給水体制を確保したうえで、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期が多少遅れても構わない」の選択率が高くなっています。「水道料金の負担が多少増えても、万全な安定給水体制を確保するために、できるだけ早く更新してほしい」については、満足度が上がるほど選択率が高くなっています。

### 【水道料金に対する感じ方による違い】

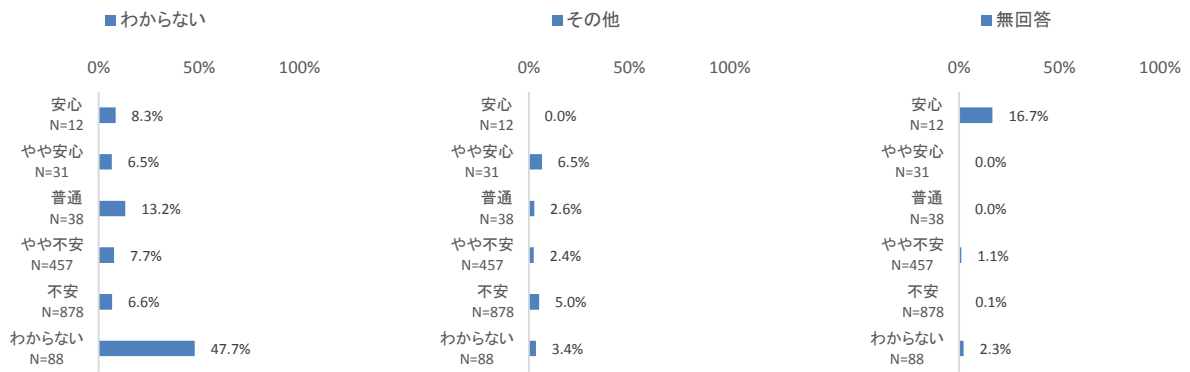


水道料金に対する感じ方にかかわらず「更新はするべきではあるが、最低限の安定給水体制を確保したうえで、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期が多少遅れても構わない」の選択率が高くなっています。

### 【老朽化施設に対する感じ方による違い】







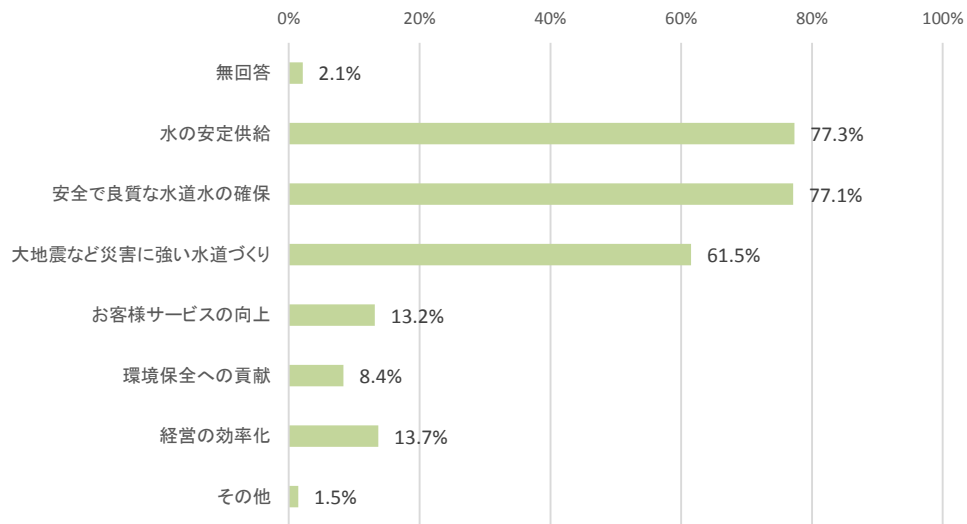
昭和 40～50 年頃に整備された水道施設の老朽化や地震に対して十分な対策がされていない水道施設があることについて、安心と思われている人を除いて「更新はするべきではあるが、最低限の安定給水体制を確保したうえで、水道料金への影響をできるだけ抑えるように、時期が多少遅れても構わない」の選択率が高くなっています。

## (9) 水道局の今後の取組について

問20 周南市上下水道局が、今後、特に力を入れるべきと思う事項はどれですか？（〇は3つまで）

1. 水の安定給水  
（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）
2. 安全で良質な水道水の確保  
（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）
3. 大地震など災害に強い水道づくり  
（水道施設の耐震化、災害に備えた事前の応急対策、資機材の確保など）
4. お客様サービスの向上  
（水道に関する情報提供、料金支払の利便性の向上など）
5. 環境保全への貢献  
（再施可能エネルギー、省エネルギー対策等の導入促進など）
6. 経営の効率化  
（業務の民間委託化、財政健全化など）
7. その他（ ）

### ① 単純集計



N=1,504

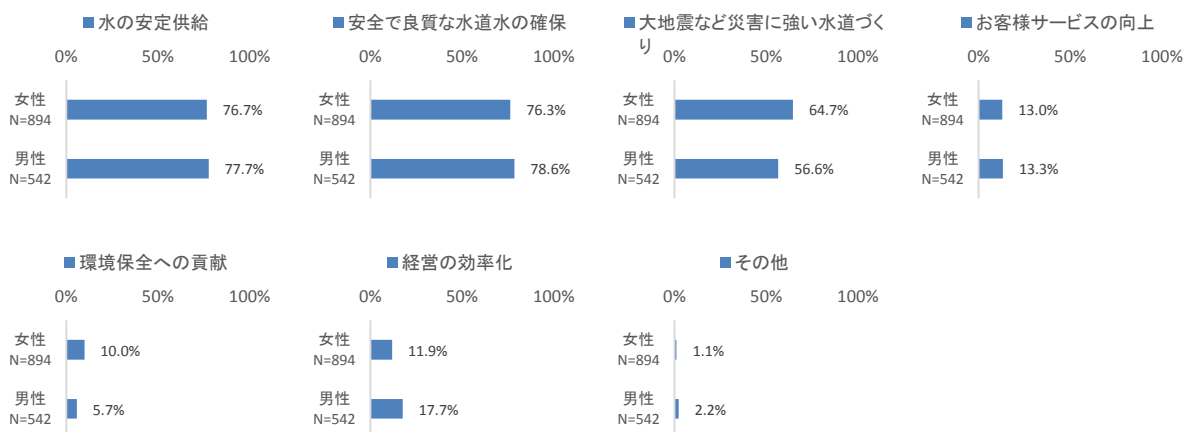
周南市上下水道局が、今後、特に力を入れるべきと思う事項としては、「水の安定給水（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）」「安全で良質な水道水の確保（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）」が選択される割合が高くなっています。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 電話、窓口の話し方の向上。
- 何かあった時にライフラインがとまると困るので、給水車など万が一の備えもどのくらいあるか市民に教えてほしい。
- 水道料金の負担軽減対策。
- 経営の効率化については市の責任として行政で一貫した事業を行ってほしい。

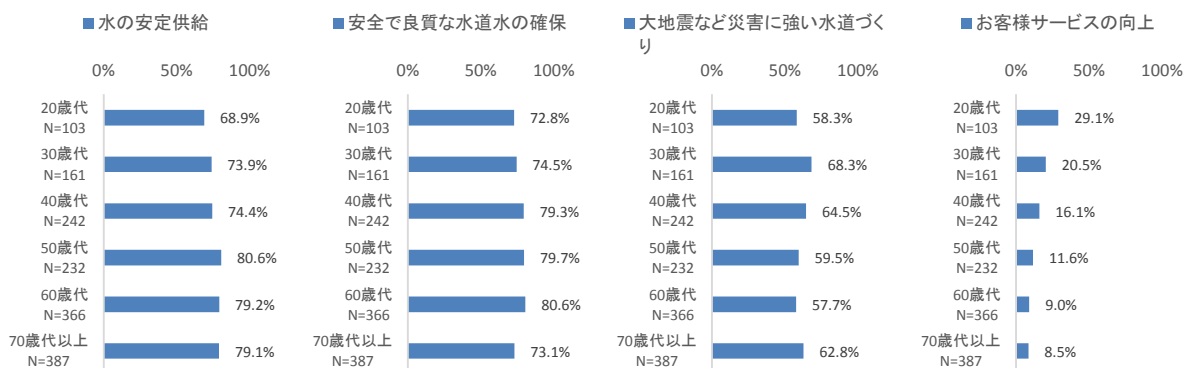
## ② 属性別集計

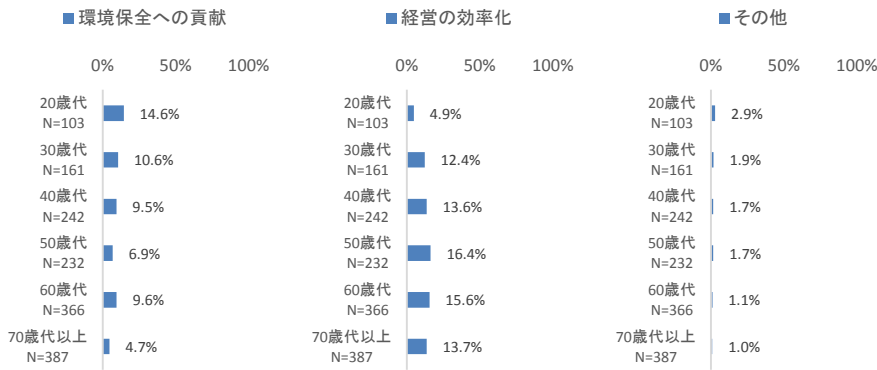
### 【性別】



性別では、男女ともに「水の安定給水（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）」「安全で良質な水道水の確保（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）」「大地震など災害に強い水道づくり（水道施設の耐震化、災害に備えた事前の応急対策、資機材の確保など）」の選択率が高くなっており、類似した傾向となっております。

### 【年齢別】

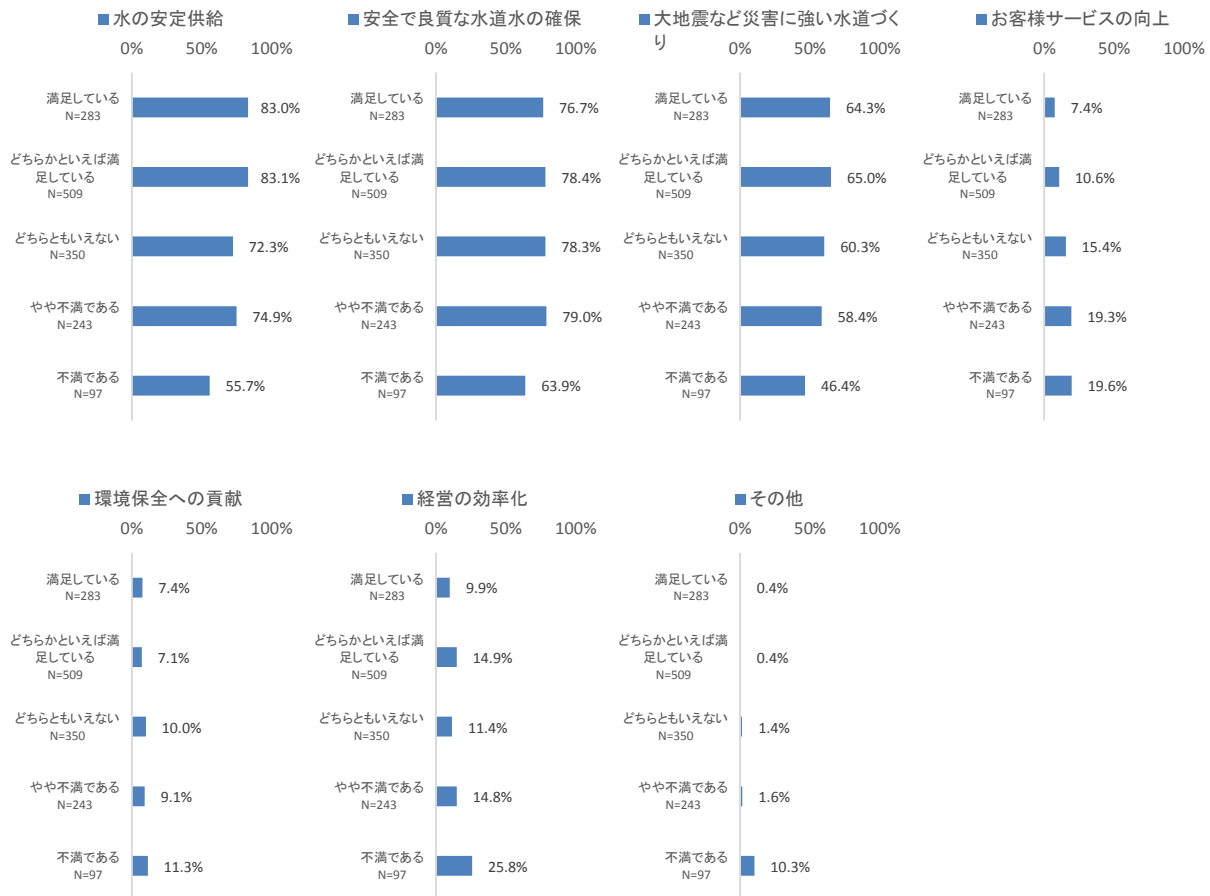




年齢別では、いずれの年代においても「水の安定給水（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）」「安全で良質な水道水の確保（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）」「大地震など災害に強い水道づくり（水道施設の耐震化、災害に備えた事前の応急対策、資機材の確保など）」の選択率が高くなっており、類似した傾向となっております。「お客様サービスの向上（水道に関する情報提供、料金支払の利便性の向上など）」「環境保全への貢献（再施可能エネルギー、省エネルギー対策等の導入促進など）」については、年齢が下がるほど選択される割合が高くなっています。

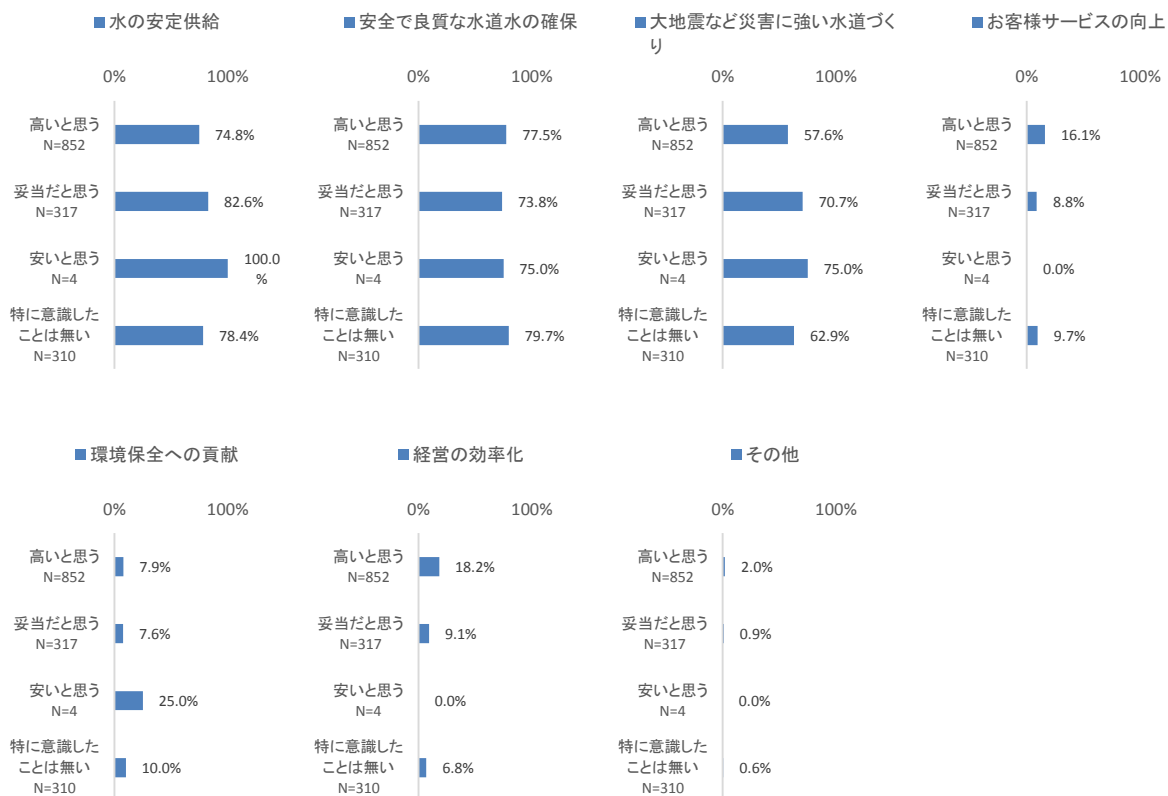
### ③ その他の集計

#### 【水道事業に対する満足度による違い】



水道事業に対する満足度にかかわらず「水の安定給水（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）」「安全で良質な水道水の確保（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）」「大地震など災害に強い水道づくり（水道施設の耐震化、災害に備えた事前の応急対策、資機材の確保など）」の選択率が高くなっています。「お客様サービスの向上（水道に関する情報提供、料金支払の利便性の向上など）」「経営の効率化（業務の民間委託化、財政健全化など）」「その他」については水道事業に対して満足していないほど選択される割合が高くなっています。

### 【水道料金に対する感じ方による違い】



水道料金に対する感じ方にかかわらず「水の安定給水（老朽化した水道管や配水施設の計画的な更新など）」「安全で良質な水道水の確保（水質管理の充実、小規模貯水槽の適正管理の啓発など）」「大地震など災害に強い水道づくり（水道施設の耐震化、災害に備えた事前の応急対策、資機材の確保など）」の選択率が高くなっています。「お客様サービスの向上（水道に関する情報提供、料金支払の利便性の向上など）」「経営の効率化（業務の民間委託化、財政健全化など）」については水道料金に対して高いと感じるほど選択される割合が高くなっています。

周南市の水道に関する意識調査報告書

平成 27 年 11 月

周南市水道局水道工務課計画担当

〒745-0844 周南市速玉町 3-15

電話 0834-22-8614